

レクサス
ネットワーク CD/DVD サーバ
(スタンダードモデル)

クイックスタートガイド

2007 年 7 月発行 第 1 版

株式会社レクサス
REXAS

はじめに

この資料は、ネットワークを介して多数の CD/DVD コンテンツを快適にアクセスするために、最新のソフトウェア/ハードウェア技術を駆使して開発された REXAS CD/DVD サーバ・スタンダードモデル(以下 CD/DVD サーバまたは本システム)を使用する際の操作手順を具体例に沿って示した操作マニュアルです。

本システムはLinuxをベースとした最新ソフトウェア技術を駆使して開発された純国産の CD/DVD サーバであり、その時点で最新のハードウェア環境で稼働させることができます。また従来のようにブラックボックス的な国外の技術を導入したものではなく、オープンソースである最新のLinuxと代表的なネットワーク及びWeb技術を組み合わせたプラットフォーム上に構築されているため発展性が高く、また環境変化やお客様のご要望にも柔軟に対応可能となりました。また今後ますます高まるであろう映像データへの対応も積極的に展開しています。

このマニュアルについて

このマニュアルでは、手早くご利用していただくために、また「～をしたい」といった操作手順をなるべく早く見つけられるように、ご利用形態等にあわせた操作手順が記述されています。お手元に置いてご活用ください。

このマニュアルは、CD/DVD サーバとその製品ソフトウェアリリース 1.03 に対応し、特に明記しない限り、以後のリリースに対しても適用されるものとします。

目次

はじめに.....	I
このマニュアルについて.....	I
目次.....	II
1. 起動・終了・再起動.....	1
1.1. 起動.....	1
1.2. 終了.....	1
1.3. 再起動.....	2
2. コンテンツの登録準備.....	3
2.1. コンテンツの格納方法とアクセスの形態.....	3
2.2. コンテンツの格納.....	4
2.3. アクセス情報の設定ならびに変更.....	5
3. オーディオおよび動画の登録と再生.....	8
3.1. オーディオ CD の登録と再生.....	8
3.2. 動画の登録と再生.....	13
4. インストーラのないコンテンツの登録.....	19
4.1. 登録前の準備.....	19
4.2. アプリケーションの登録.....	19
4.3. メニュー画面の作成.....	23
5. インストーラのあるコンテンツの登録.....	28
5.1. コンテンツの登録.....	28
5.2. アクセス情報の変更.....	29
5.3. アプリケーションの登録.....	31
【アプリケーション登録前の準備】.....	31
5.4. インストーラの登録.....	32
5.5. インストーラをメニューに登録.....	34
5.6. アプリケーションの登録.....	38
5.7. アプリケーションをメニューに登録.....	41
6. 置き換え型のコンテンツのための設定.....	44
6.1. 登録済みのコンテンツを置き換え形に設定する.....	44
7. コンテンツの追加.....	47

7.1. 追加コンテンツの登録	47
7.2. アクセス情報の変更.....	48
7.3. アプリケーションの登録	49
【登録前の準備】.....	49
7.4. アプリケーションの追加登録	49
8. グループ化.....	55
8.1. インストーラの登録.....	55
8.2. グループの作成	58
8.3. 閲覧ソフトの登録	60
9. ディスクの出し入れ	64
9.1. CD/DVDドライブの場合	64
10. ディスク名の変更	66
11. ドライブ名・トレイ名の変更.....	68
12. アプリケーション情報の入手	70
13. イベントログ／アクセスログ	72
14. データベースのバックアップ.....	75

(MEMO)

1. 起動・終了・再起動

1.1. 起動

起動手順は次の通りです。

1. 外付デバイスを接続している場合はまずそれらの電源を ON にする。
2. 本体の電源を ON にする(押す)。

サーバが起動してサービスが始まるまで3分ほどかかります。ディスプレイをサーバ本体に接続している場合 LOGIN 画面となります。ここでは LOGIN しなくても動作します。LOGINする場合、ユーザ名は“root”、パスワードは“rootroot”でLOGINしてください(デフォルト:設定によっては変更されています)。

1.2. 終了

終了手順は次の通りです。

1. 本体の電源ボタンを押す。
2. DVD ドライブタワーを接続している場合、本体の電源が落ちたことを確認して DVDドライブタワーの電源ボタンを OFF にする。

また、本体制御画面(LINK)より「シャットダウン」ボタンをクリックすることでも電源を切ることができます。その場合は次の手順で行います。

1. CD/DVDサーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面右下の「シャットダウン」ボタンをクリックします。
5. 「シャットダウンを続行しますか」と尋ねてくるので「OK」をクリックします。

6. サーバのシャットダウンが実行されます。



いずれの場合も、ジュークボックス、ドライブタワーの電源は自動では切断されませんのでご注意ください。

1.3. 再起動

再起動の手順は次の通りです。

1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面右下の「再起動」ボタンをクリックします。
5. 「再起動を続行しますか」と尋ねてくるので「OK」をクリックします。
6. サーバが再起動します。

また、本体の電源を一旦落とした後、再度本体の電源を入れることでも同様の効果が得られます。

2. コンテンツの登録準備

クライアントから各種コンテンツをアクセスするには、それらのコンテンツをまず CD/DVD サーバ(本機)に格納する必要があります。

2.1. コンテンツの格納方法とアクセスの形態

本機では、コンテンツの格納方法とアクセスの形態として次の3通りが用意されています。

1. キャッシュ

ディスクをドライブに入れている間はアクセス可。ドライブから抜いたらアクセス不可。

サーバ本体、もしくはドライブタワーに装着されたディスクのデータはすべてハードディスクにダウンロードされ、以後そのディスクへのアクセスはハードディスク(キャッシュ)からアクセスされますが、ドライブからディスクを抜き取るとキャッシュが消えてアクセスできなくなります。

2. アーカイブ

ディスクをドライブから抜いてもアクセス可。

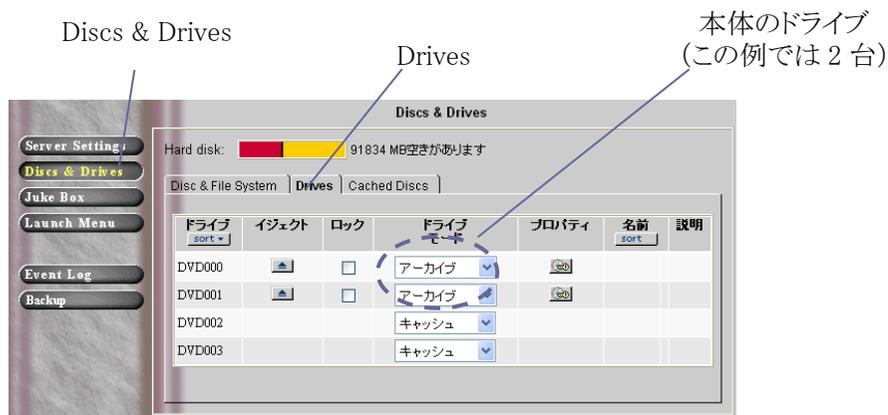
キャッシュと似ていますが、ディスクを抜き取ってもアクセスが可能です。ドライブからダウンロードした場合に有効です。アクセスを停止するには `cached` 画面より「削除」します。いったん削除されたディスクは新たにダウンロードしなおす必要があります。

3. 直接アクセス

ディスクを直接アクセス。ドライブから抜いたらアクセス不可。

ハードディスクにダウンロードすることなくディスクを直接アクセスします。ディスクを直接アクセスしますのでディスクを抜き取るとアクセスできなくなります。

いずれも管理方法が異なるだけでクライアントから見た動作にちがいはありません。これは **Discs & Drives** の Drives で指定します。



ここからは数枚で 1 組になっているいくつかのコンテンツをメニューに登録してアクセスするまでの手順を示します。

2.2. コンテンツの格納

まずコンテンツ(ディスク)をネットワーク経由アクセス可能な状態にします。ただし、ここでいう「アクセス可能」とは、たとえばネットワークコンピュータでこのディスクを認識できるというレベルであって(ネットワーク公開)、そのコンテンツ用のアプリケーションがそのまま動作するというではありません。

本体内蔵もしくはタワーのドライブにメディアを挿入することにより自動的にハードディスクに格納(ダウンロード)されます。ダウンロードの結果は **Discs & Drives** で確認できます。



この段階で、クライアントからアクセスできることを確認してください。同じセグメント内であればまずは大丈夫ですが、そうでない場合はルータやファイアウォールの設定が必要となることがあり、そうなると本機の設定も変更する必要がありますので、この時点で解決しておきましょう。

2.3. アクセス情報の設定ならびに変更

格納されたデータは自動的にアクセス名が付けられて Windows ネットワーク上からアクセスできるようになります。アクセス名はデフォルトでボリュームラベルの内容が使用されますが、同一のものがすでに登録されていた場合は自動的に変更されます。

このようにして格納されたコンテンツのデータはそのまま使うことができますが、共有名など各種設定を変更して使いやすくすることができます。設定を変更する手順は次の通りです。

1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面左の **Discs & Drives** ボタンをクリックします。
5. 「Discs & Drives」の「Disc & File system」タブの画面が表示されます。

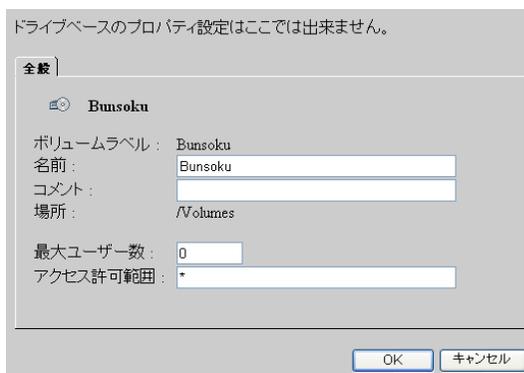


アクセス名・説明はネットワークコンピュータで本機を開くと表示される内容となりますし、わかりやすいものに付け替えたほうが管理上も便利になります(トラブル等で格納 HDD を初期化したなどコンテンツの入れなおしをする場合そのままのほうが簡単と言う考え方もあります)。アクセス条件として最大ユーザ数とアクセス許可範囲が設定できます。最大ユーザ数はそのコンテンツを同時に閲覧できる人数を制限することができます。0 は無制限です。アクセス許可範囲はそのコンテンツをアクセスできるマシンのサーバ名や IP アドレスの範囲を設定できます。

1. アクセス名やコメントを修正することができます。「プロパティ」をクリックするとプロパティ画面が開きます。



2. プロパティ画面でアクセス名、コメント、最大ユーザ数とアクセス許可範囲を編集します。編集が終わったら「OK」ボタンをクリックして編集内容を反映させます。この段階で新しく変更されたアクセス名でアクセスが可能となります。



アクセス範囲はドメイン名の一部、完全な IP アドレス、IP アドレスの一部、ネットワーク/ネットマスクの対、CIDR 指定ができます。また、「EXEPTION」キーワードを用いることで許可しない範囲を重ねて設定することができます。なお、「*」は全てを許可するという意味で単独で用います(デフォルト)。

例)

rexas.co.jp

この文字列に合うか、これで終わる名前のホストのアクセスが許可されます。各部分が完全に合うものだけに適用されますので、上の例は `develop.rexas.co.jp` にはマッチしますが、`developrexas.co.jp` にはマッチしません。

10.1.2.3

アクセスを許可する IP アドレスです。

10.1

サブネットの制限用の、IP アドレスの最初の一つから三つまでのバイトです。

10.1.0.0/255.255.0.0

ネットワーク `a.b.c.d` とネットマスク `w.x.y.z` です。より細粒度のサブネット制限用です。

10.1.0.0/16

ネットマスクが `nnn` の上位ビットが 1 となっているものからなること以外は前のものと同じです。

最後の 3 つはいずれも同じ範囲を示します。

10.1 EXCEPT 10.1.2

10.1.0.1~10.1.255.254 のうち 10.1.2.1~10.1.2.254 を除いたアドレスにアクセス許可を与えます。

これらの組み合わせで必要なアドレスを設定してください。

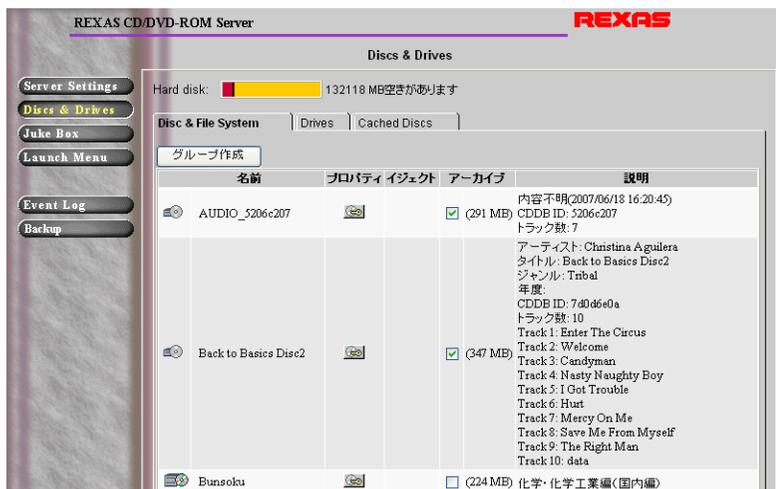
3. オーディオおよび動画の登録と再生

まず手始めに、簡単にできるオーディオ CD と動画の登録と再生をやってみます。ここでは 2 枚のオーディオ CD があり、ダウンロードの際に 1 枚はインターネットから CDDB のデータが取得でき、もう 1 枚は取得できませんでした。動画についてはプロモーションビデオとして作成したものを使用しました(オリジナル)。本システムではオーディオ、および動画についてはいずれもメディアプレーヤを再生ソフト(ビューア)としています。それは主にオーディオ CD の再生リストがメディアプレーヤにあわせて作られている、ということであって、他の再生ソフトにあわせること(カスタマイズ)ができないわけではありません。

3.1. オーディオ CD の登録と再生

次の手順でダウンロードされた結果を確認します。

1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面左の **Discs & Drives** ボタンをクリックします。
5. 「Disc & Drives」画面が表示されます。



ここで“Back to Basics...”の CDDB データが取得されていて、“Audio...”のデータは取得できなかったことが確認できました。

次にこの 2 枚の CD をメニューに登録して再生できるようにします。

6. 画面左の **Launch Menu** ボタンをクリックします。
7. 「Launch Menu」画面が表示されます。
8. 「Application」タブをクリックします。
9. アプリケーション一覧画面が表示されます。ここには現在 Launch Menu システムに登録されているアプリケーションのすべてが一覧で表示されますが、オーディオ CD の場合は本システム対象のアプリケーションとしてダウンロード時に自動的に登録されています(この場合のアプリケーションとはディスク(オーディオ CD)を指します)。実際のアプリケーション(再生ソフト)はメディアプレーヤであり、これに対して再生対象のパスを指定してやるのがここでの作業の目的ということになります。

No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。		
2	AUDIO_5206c207	内容不明2007/06/13 12:41:00 CDDB ID: 5206c207 トラック数: 7		
4	Back to Basics Disc2	アーティスト: Christina Aguilera タイトル: Back to Basics Disc2 ジャンル: Tribal 年数: CDDB ID: 7d0d6e0a トラック数: 10 Track 1: Enter The Circus Track 2: Welcome Track 3: Candyman Track 4: Nasty Naughty Boy Track 5: I Got Trouble Track 6: Hurt Track 7: Mercy On Me Track 8: Save Me From Myself Track 9: The Right Man Track 10: data		

アプリケーション追加

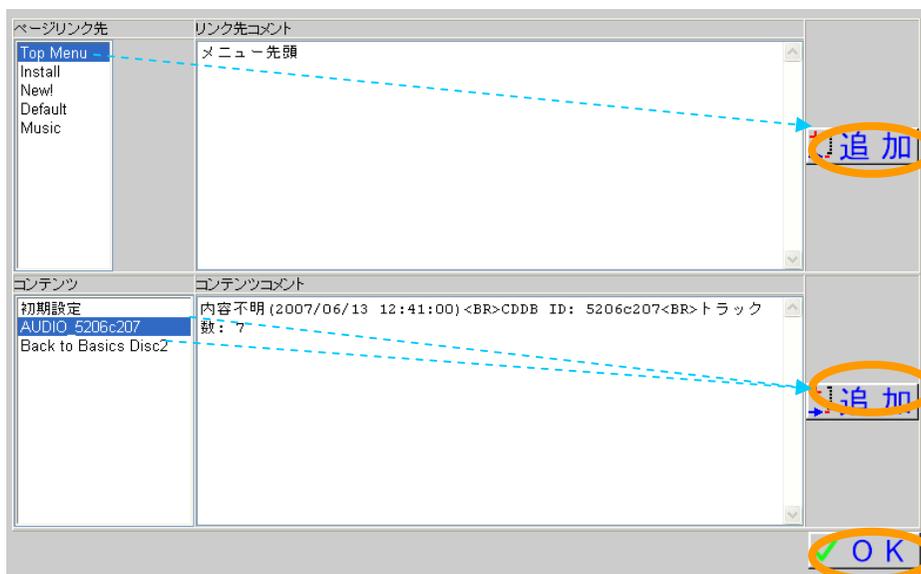
10. 「Menu Data」のタブをクリックします。メニューの一覧が表示されますので「Music」の行の設定ボタンを押します。



11. ページ設定の画面が現れますので「追加」ボタンを押します。デフォルトでメニュー先頭 (Top Menu) へのリンクが設定されています。



12. オーディオCDをこのページに2枚追加して「OK」を押します。「ページリンク先」は、このページから直接戻るページを指定(追加)しますが、この例ではすでに設定されていますので追加する必要はありません。



13. 「プレビューボタン」を押してメニューの内容を確認したら「OK」します。



CD/DVD-ROMサーバ(Music)	
CD/DVDコンテンツ閲覧メニュー 音楽	
タイトル	説明
Top Menu	メニュー先頭
AUDIO_5206c207	内容不明(2007/06/13 12:41:00) CDDDB ID: 5206c207 トラック数: 7
Back to Basics Disc2	アーティスト: Christina Aguilera タイトル: Back to Basics Disc2 ジャンル: Tribal 年度: CDDDB ID: 7d0d6e0a トラック数: 10 Track 1: Enter The Circus Track 2: Welcome Track 3: Candyman Track 4: Nasty Naughty Boy Track 5: I Got Trouble Track 6: Hurt Track 7: Mercy On Me Track 8: Save Me From Myself Track 9: The Right Man Track 10: data

14. これで音楽 CD のメニュー登録ができました。クライアント用ホームページから Launch Menu を起動して確認してください。



(ご注意) 一般に音楽 CD は著作権法で保護されており、個人で視聴する場合を除いて、著作権保持者の許諾なしで再生することは禁じられていますので、公共図書館等において館内での視聴に供する場合を除いて著作権保持者の許諾を得てご使用ください。

3.2. 動画の登録と再生

1. まず動画コンテンツを本システムに認識させます。「アプリケーション追加」を押します。

The screenshot shows the 'Launch Menu' application interface. On the left, there is a sidebar with buttons for 'Server Settings', 'Disks & Drives', 'Juke Box', 'Launch Menu', 'Event Log', and 'Backup'. The main area displays a table with columns for 'No.', 'タイトル', 'コメント', '設定', and '削除'. The table contains three rows of data. The 'アプリケーション追加' button is circled in orange at the bottom of the interface.

No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。 リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。		
2	AUDIO_5206c207	内容不明(2007/06/13 12:41:00) CDDB ID: 5206c207 トラック数: 7		
4	Back to Basics Disc2	アーティスト: Christina Aguilera タイトル: Back to Basics Disc2 ジャンル: Tribal 年度: CDDB ID: 7d0d6e0a トラック数: 10 Track 1: Enter The Circus Track 2: Welcome Track 3: Candyman Track 4: Nasty Naughty Boy Track 5: I Got Trouble Track 6: Hurt Track 7: Mercy On Me Track 8: Save Me From Myself Track 9: The Right Man Track 10: data		

アプリケーション追加

2. 追加された行の「設定」を開きます。

The screenshot shows the 'Launch Menu' application interface after the third row has been added. The '設定' button for the third row is circled in orange. The table now has four rows of data.

No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。 リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。		
2	AUDIO_5206c207	内容不明(2007/06/13 12:41:00) CDDB ID: 5206c207 トラック数: 7		
3	--NO NAME--	--NO COMMENT--		
4	Back to Basics Disc2	アーティスト: Christina Aguilera タイトル: Back to Basics Disc2 ジャンル: Tribal 年度: CDDB ID: 7d0d6e0a トラック数: 10 Track 1: Enter The Circus Track 2: Welcome Track 3: Candyman Track 4: Nasty Naughty Boy Track 5: I Got Trouble Track 6: Hurt Track 7: Mercy On Me Track 8: Save Me From Myself Track 9: The Right Man Track 10: data		

アプリケーション追加

- 「リンク呼び出し」にチェックを入れ、今回登録する動画である「ファイナルプロテクション」のタイトルとコメントを入力します。

Application No. 3
タイプ: プログラム起動 リンク呼び出し
タイトル: ファイナルプロテクション
コメント: プロモーションビデオ
リンク先:
OK

- ネットワークコンピュータからこのコンテンツを探してダブルクリックします。



- ネットワークパスをコピーします。



- 「リンク先」に貼り付けます。この場合のサーバ名は”M04I”です。

Application No. 3
タイプ: プログラム起動 リンク呼び出し
タイトル: ファイナルプロテクション
コメント: プロモーションビデオ
リンク先: \\M04\Fファイナルプロテクション
OK

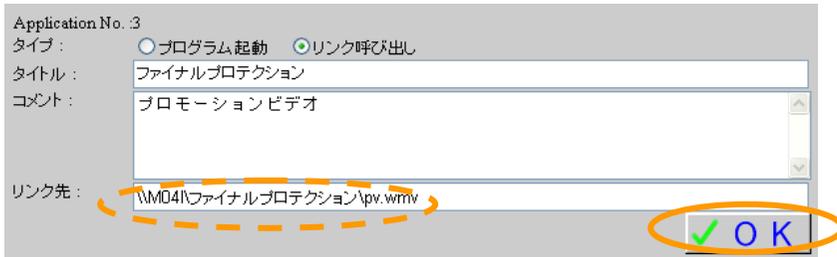
7. 動画ファイルを右クリックしてプロパティを開きます。



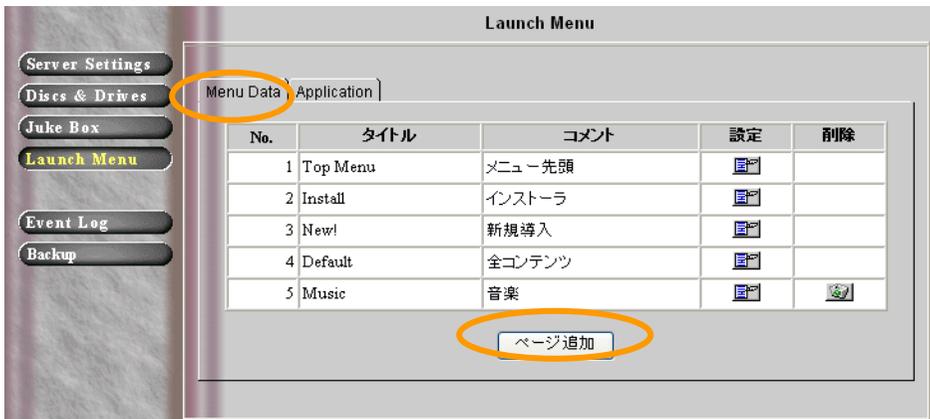
8. 「コントロール」キーと「C」キーを同時に押してパスをコピーします。



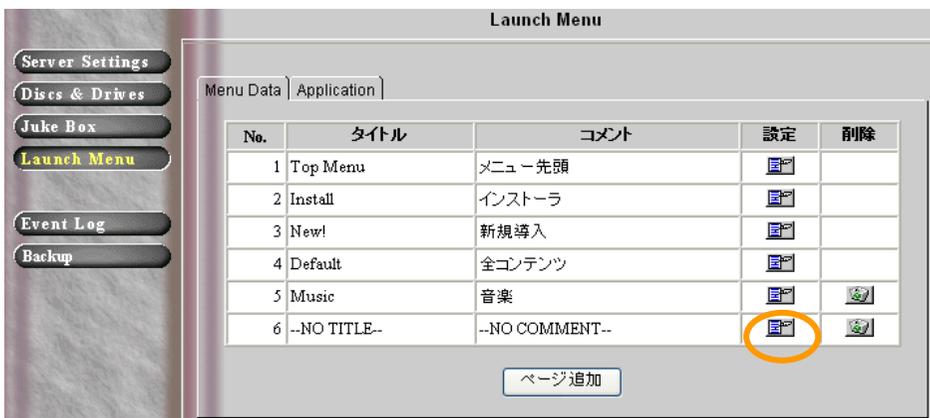
9. 先ほどのネットワークパスにフォルダ内のパスを追加貼り付けして完全なパス (¥¥M04¥¥ファイナルプロテクション¥¥pv.wmv) を指定します(「コントロール」キーと「V」キーを同時に押します)。区切り記号(¥¥の小文字扱いの逆スラッシュ)を入れ忘れないようにして「OK」します。



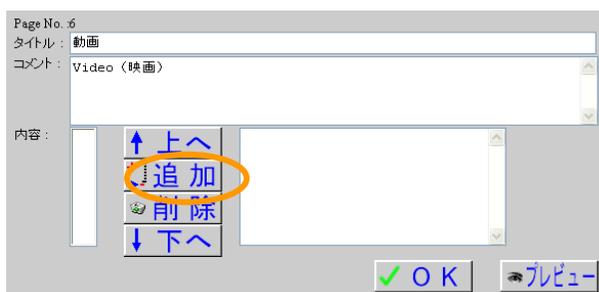
10. 新たに動画用のメニュー画面を作成してそこに登録することになります。まず「Menu Data」を開いて「ページ追加」を押します。



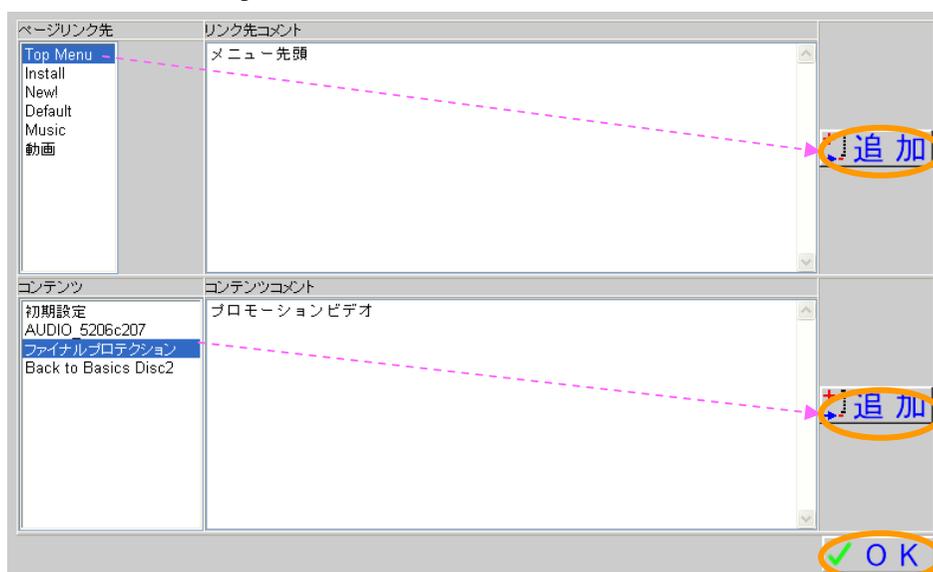
11. 追加されたページの「設定」を開きます。



12. ページのタイトル、コメント入力して「追加」ボタンを押します。



13. 先ほど[Application Data]で登録した「ファイナルプロテクション」を選んで「追加」して、戻り先である「Top Menu」も追加して「OK」します。



14. 「プレビュー」でページ内容を確認して「OK」します。





これで各クライアントから自由にこの動画を再生できるようになりました。メニュー画面は型紙をさしかえることにより自由に変更することができます。

4. インストーラのないコンテンツの登録

まず、アプリケーションを(閲覧ソフト)をクライアントにインストールする必要がなく、コンテンツのディスクに含まれている閲覧ソフトを直接ネットワーク経由で起動することで閲覧が可能なコンテンツおよびアプリケーションを登録する方法について説明します。

4.1. 登録前の準備

アプリケーションを登録する際に必要な情報をあらかじめ用意する必要があります。この情報の入手方法については 12.アプリケーション情報の入手 (P.70)を参照してください。ここではインストーラの必要ない、コンテンツのディスクにアプリケーション(閲覧ソフト)が含まれているタイプの例として「科学技術文献速報」を使って次の情報が確認されたものとして説明します。

- ・ 使用ディスク..... 3 種類(3 枚)
- ・ ディスクマウント先..... P: →:全クライアント共通で使えるこのディスク(3 種類)のドライブ番号です。アプリケーション起動時に自動的にマウントされ、終了時に切り離されます。
- ・ コマンドライン P:¥Bunsoku.exe
アプリケーションを起動するパスを指定します。
- ・ 作業フォルダ..... P:¥
- ・ 終了後のマウント継続..... なし
アプリケーション終了時にドライブを切り離さず接続したままとする指定です。

4.2. アプリケーションの登録

次の手順でアプリケーション登録画面をブラウザで開きます。

1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。

3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面左の **Launch Menu** ボタンをクリックします。
5. 「Launch Menu」画面が表示されます。
6. 「Application」タブをクリックします。
7. アプリケーション一覧画面が表示されます。

ここには現在 Launch Menu システムに登録されているアプリケーションのすべてが一覧で表示されますので「アプリケーション追加」タブをクリックします。

No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。 リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。		
2	AUDIO_5206c207	内容不明(2007/06/13 12:41:00) CDDDB ID: 5206c207 トラック数: 7		
3	ファイナルプロテクション	プロモーションビデオ		
4	Back to Basics Disc2	アーティスト: Christina Aguilera タイトル: Back to Basics Disc2 ジャンル: Tribal 年度: CDDDB ID: 7d0d6e0a トラック数: 10 Track 1: Enter The Circus Track 2: Welcome Track 3: Candyman Track 4: Nasty Naughty Boy Track 5: I Got Trouble Track 6: Hurt Track 7: Mercy On Me Track 8: Save Me From Myself Track 9: The Right Man Track 10: data		

アプリケーション追加

8. 一覧の一番下にタイトルが「--NO NAME--」、コメントが「--NO COMMENT--」のエントリーが追加されます。

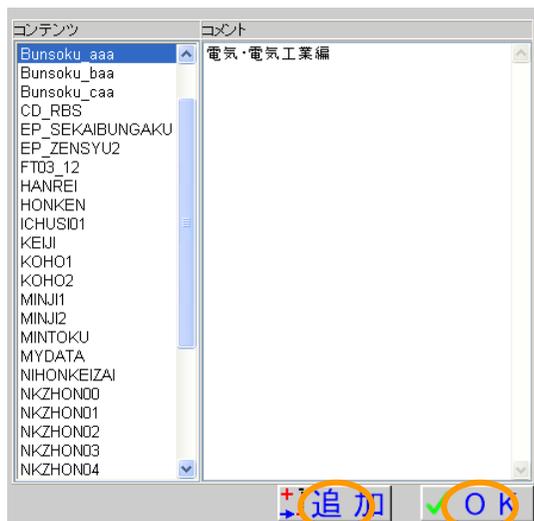
4	Back to Basics Disc2	Track 2: Welcome Track 3: Candyman Track 4: Nasty Naughty Boy Track 5: I Got Trouble Track 6: Hurt Track 7: Mercy On Me Track 8: Save Me From Myself Track 9: The Right Man Track 10: data		
5	--NO NAME--	--NO COMMENT--		

アプリケーション追加

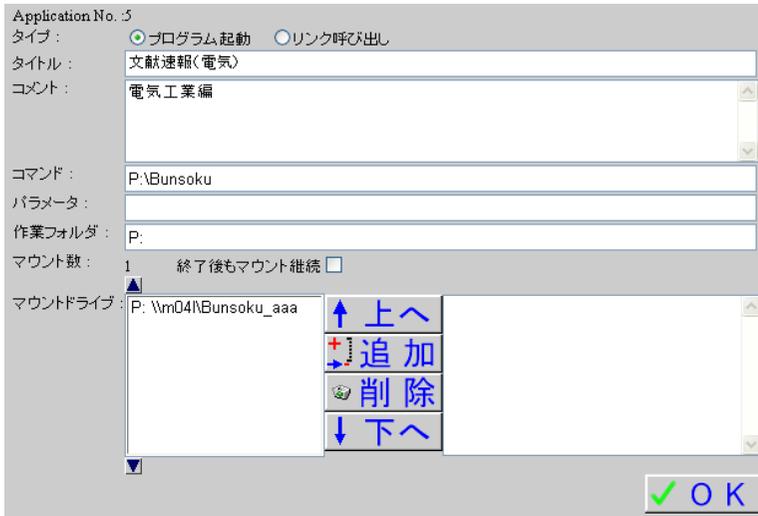
9. 追加されたエントリーの欄の「設定」ボタンをクリックして設定画面を開きます。
ここにそのコンテンツのアプリケーション情報（「プログラム起動」、「タイトル」、「コメント」、「コマンド(ライン)」、「作業フォルダ」、「終了後もマウント継続」(この場合は継続なし)等を入力して「追加」ボタンを押します。

Application No. 5
タイプ: プログラム起動 リンク呼び出し
タイトル: 文献速報(電気)
コメント: 電気工業編
コマンド: P:/Bunsoku
パラメータ:
作業フォルダ: P:
マウント数: 0 終了後もマウント継続
マウントドライブ:
↑ 上へ
+ 追加
- 削除
↓ 下へ
OK

10. ここでマウント先に追加すべきアプリケーションとしてコンテンツ(Bunsoku_aaa)を選択して「追加」をクリックします。その後「OK」をクリックしてこの画面を閉じます。



11. 上下の矢印ボタンをクリックしてドライブレターを調整した後プロパティ画面の「OK」ボタンをクリックすることでプロパティが確定されます。これでアプリケーションを起動するための準備（パスおよびネットワークドライブの自動接続、切り離しの設定）ができました。



12. 同様に残りの 2 枚を登録します。

No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。		
2	AUDIO_5206c207	内容不明(2007/06/13 12:41:00) CDDB ID: 5206c207 トラック数: 7		
3	ファイナルプロテクション	プロモーションビデオ		
4	Back to Basics Disc2	アーティスト: Christina Aguilera タイトル: Back to Basics Disc2 ジャンル: Tribal 年度: CDDB ID: 7d0d6e0a トラック数: 10 Track 1: Enter The Circus Track 2: Welcome Track 3: Candyman Track 4: Nasty Naughty Boy Track 5: I Got Trouble Track 6: Hurt Track 7: Mercy On Me Track 8: Save Me From Myself Track 9: The Right Man Track 10: data		
5	文献速報(化学)	化学工業編		
6	文献速報(機械)	機械工業編		
7	文献速報(電気)	電気工業編		

4.3. メニュー画面の作成

新しいメニュー画面を作成し、そこにこれらのアプリケーションを登録します。メニュー画面は型紙を入れ替えることにより自由に変更する事ができます。

1. Launch Menu 画面で「Menu Data」タブをクリックします。
2. メニュー一覧画面が表示されます。

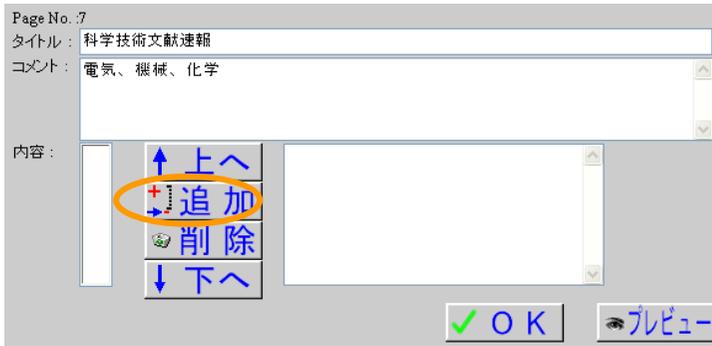


これらのうち上から 5 つのメニューは標準で用意されているもので、この中で「Top Menu」がユーザに提供するメニューの初期画面(ページ)となりますので、これを起点としてメニューを自由に展開することができます。例として、ここでは Top Menu に科学技術文献速報のページを追加登録することにします。

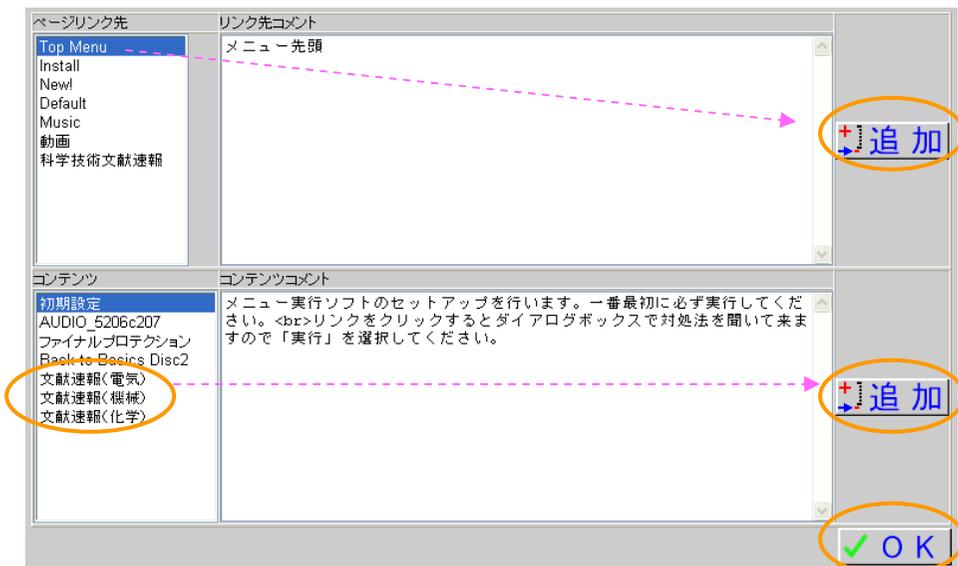
3. 「ページ追加」ボタンをクリックして新しいページを追加します。
4. 一覧の一番下にタイトルが「--NO TITLE--」、コメントが「--NO COMMENT--」のエントリーが追加されます。



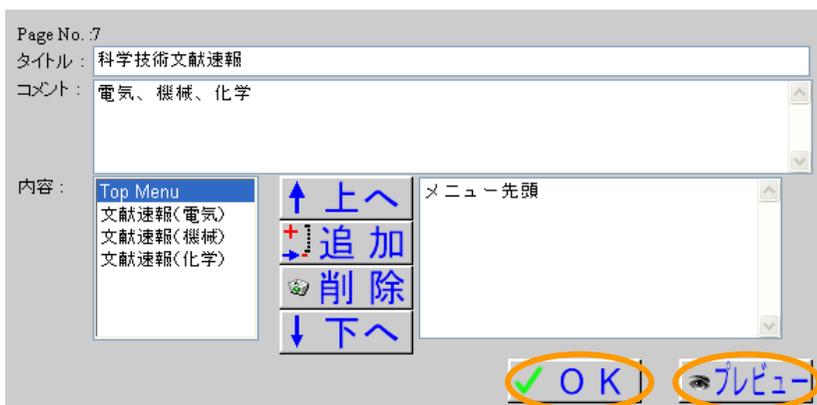
- メニュー一覧画面で追加されたエントリーの欄の「設定」ボタンをクリックします。
- 設定画面が開きます。科学技術文献速報用のメニュー画面の「タイトル」、「コメント」を設定し「追加」ボタンを押します。タイトルはページ上に示されたり他のページから参照される際に使われるリンクの名前です。コメントはその説明として使われます。



- ページ内に配置するリンクを作成します。『ページリンク先』はこのページから他のページへのリンクです。この場合は「Top Menu」を選択します。このページリンク先を入れないとブラウザの「戻る」ボタンでしか画面を移動することができなくなりますので1つは入れるようにします。また『コンテンツ』の中からこのページから閲覧する「文献速報」(3つ)を追加して「OK」します。



8. 「プレビュー」で確認して「OK」します。



9. 「OK」ボタンをクリックしてメニューページにリンクが追加されていることを確認します。





文献速報スタート画面



クライアントマシンからもその動作を確認してください。

5. インストーラのあるコンテンツの登録

各クライアントにインストールする必要があるコンテンツも珍しくありません。ここではネットワーク経由で各クライアントにインストールして 5 枚のディスクをアクセスする方法について説明します。なお、このタイプのコンテンツは、アプリケーション(閲覧ソフト)を各クライアントマシンにインストールする必要がある場合がほとんどですので、そのインストーラもあわせて登録します。この作業により、各クライアントではメニュー画面からの 1 クリックでのネットワーク経由インストールが可能となりますので、これまでのような CD を持ち歩いてのインストールから解放されます。

5.1. コンテンツの登録

インストーラのあるコンテンツ(CD/DVD メディア)をアクセス可能な状態にします。本体内蔵のドライブまたは外付の DVRS100 等のドライブを利用する場合はメディアをドライブに挿入すればキャッシュ・アーカイブに指定されているドライブであればすぐにコンテンツデータの格納(ダウンロード)を行います。格納されたデータは自動的にアクセス名が付けられて Windows ネットワーク上からアクセスできるようになります。今回は 5 枚を連続して投入します。

各コンテンツはそのままで使えますが、名前等各種設定を変更して使いやすくすることができます。設定を変更するには制御画面をブラウザで開きます。制御画面をブラウザで開く手順は次のようになります。

1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面左の  ボタンをクリックします。

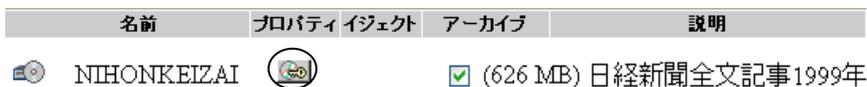
- 「Discs & Drives」の「Disc & File system」タブの画面が表示されます。



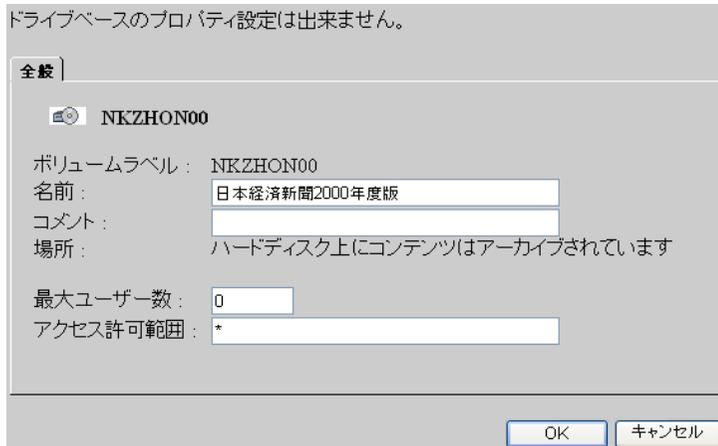
5.2. アクセス情報の変更

格納したコンテンツのアクセス情報を変更することができます。アクセス名・説明はネットワークコンピュータで CD/DVD サーバを開くと表示されるものと同じ内容で、わかりやすいものに付け替えたほうが管理上也に便利になります(ただしトラブル等でコンテンツの入れなおしをする場合、そのままのほうが簡単であると考えられますので状況次第です)。アクセス条件として最大ユーザ数とアクセス許可範囲が設定できます。最大ユーザ数はそのコンテンツを同時に閲覧できる人数を制限することができます。0は無制限となります。アクセス許可範囲はそのコンテンツをアクセスできるマシンの IP アドレスの範囲を設定できます。

- アクセス名やコメントを修正することができます。「プロパティ」をクリックするとプロパティ画面が開きます。



- プロパティ画面でアクセス名、コメント、最大ユーザ数とアクセス許可範囲を編集します。編集が終わったら「OK」ボタンをクリックして編集内容を反映させます。この時点で新たなアクセス条件でアクセスが可能となります。



名前	プロパティ	イジェクト	アーカイブ	説明
 NIHONKEIZAI		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> (626 MB) 日経新聞全文記事1999年	
 NKZHON00		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> (634 MB) 日経新聞全文記事2000年	
 NKZHON01		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> (605 MB) 日経新聞全文記事2001年	
 NKZHON02		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> (606 MB) 日経新聞全文記事2002年	
 NKZHON03		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> (567 MB) 日経新聞全文記事2003年	

同じボリュームラベルの場合は末尾に'_aaa'や'_baa'が自動的に追加されます。このままではわかりにくいので名前を変更するという考え方もありますし、何らかの原因でディスクを初期化した場合、メディアの挿入順番さえ間違わなければ同じ名前(ボリュームラベル)になりますのでそのままにしておくという考え方もあります。

5.3. アプリケーションの登録

登録したコンテンツにあわせて新たにアプリケーション(閲覧方法)を登録します。登録したアプリケーションは **Launch Menu** 内でコンテンツを閲覧するリンクとして使うことができますようになります。また、このアプリケーションは各クライアントマシンにインストールする必要があるものがほとんどですのでそのアプリケーションのインストーラも登録するとネットワーク経由でインストーラをインストールすることができ便利になります。

【アプリケーション登録前の準備】

アプリケーションを登録するときに必要な情報をあらかじめ用意する必要があります。この情報の入手方法については 11.アプリケーション情報の入手(P.70)を参考にしてください。ここではインストーラを実行して閲覧ソフトの情報を入手することにします。まずインストーラの情報はディスクの内容を参照することで容易に知ることができます。



インストーラ

- ・ 使用ディスク 1枚
- ・ ディスクマウント先 Q:
- ・ コマンドライン Q:%setup%setup.exe
- ・ 作業フォルダ Q:%setup
- ・ 終了後のマウント継続 あり

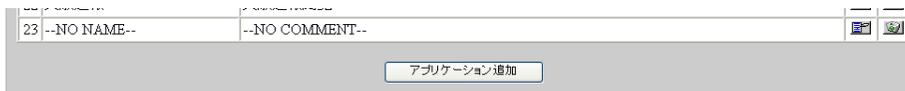
5.4. インストーラの登録

インストーラをメニューに登録して、各クライアントからはネットワーク経由でインストールできるようにします。まずアプリケーション登録画面をブラウザで開きます

1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面左の **Launch Menu** ボタンをクリックします。
5. 「Launch Menu」画面が表示されます。
6. 「Application」タブをクリックします。
7. アプリケーション一覧画面が表示されます。

続いてインストーラの追加登録を行います。この場合、インストーラは各ディスクに同じものが入っていますのでどれか一つを指定します。

8. 「アプリケーション追加」タブをクリックします。
9. 画面一番下の「アプリケーション追加」ボタンをクリックします。
10. 一覧の一番下にタイトルが「--NO NAME--」、コメントが「--NO COMMENT--」のエントリーが追加されます。



11. 追加されたエントリーの欄のプロパティボタンをクリックしてプロパティ画面を開きます。

12. ここに「タイトル」、「コメント」、「コマンドライン」、「作業フォルダ」、「終了後もマウント継続」等を入力します。

Application No. : 5
タイプ: プログラム起動 リンク呼び出し
タイトル: 日本経済新聞インストーラ
コメント:
コマンド: Q:\setup\setup.exe
パラメータ:
作業フォルダ: Q:\setup
マウント数: 0 終了後もマウント継続
マウントドライブ:
↑ 上へ
+ 追加
- 削除
↓ 下へ
OK

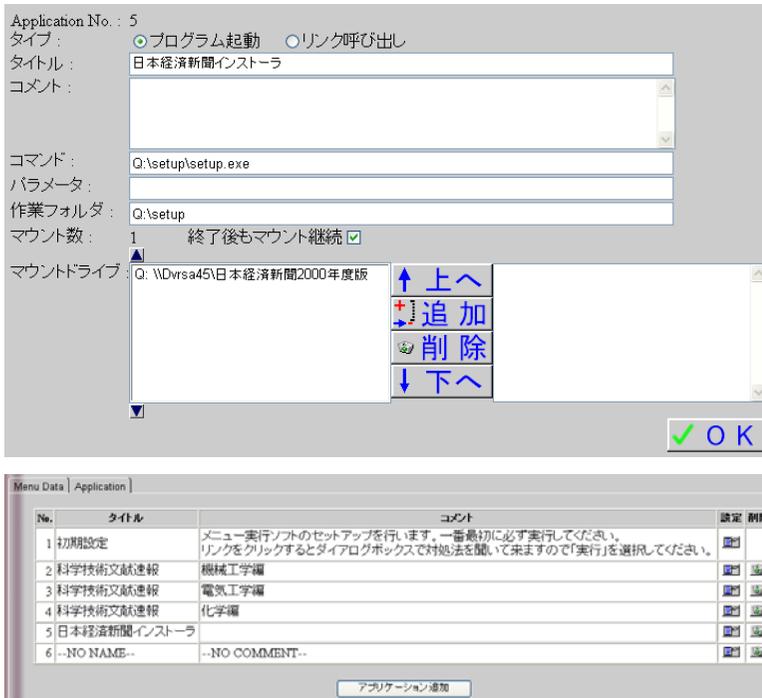
(注) インストーラの場合、一般に「終了後もマウント継続」にします。終了後もマウント継続というのは、Launch Menu がインストーラを起動する際に指定のネットワークドライブを接続し、終了時に切り離しを行います。一般にインストーラは次々と別のソフトを起動するためインストーラ全体が終了するまでマウントしたままとする必要があるからです。そのため Launch Menu ではネットワークドライブ切り離しのタイミングをつかめず接続されたままとなりますので、[インストーラの実行直後は手動でネットワークドライブを切り離してください。](#)

13. 「追加」ボタンをクリックして参照コンテンツ追加画面を開きます。ここでマウント先に追加すべきコンテンツ(インストーラ)を選択して「追加」をクリックします。その後「OK」をクリックしてこの画面を閉じます。

コンテンツ	コメント
Bunsoku	
Bunsoku_aaa	
Bunsoku_baa	
NIHONKEIZAI	
NIHONKEIZAI_aaa	
NKZSAN00	
NKZSAN01	
NKZSAN02	
NKZSAN03	
NKZSAN04	
buriken	
buriken_aaa	
日本経済新聞2000年度版	
日本経済新聞2001年度版	
日本経済新聞2002年度版	
日本経済新聞2003年度版	
日本経済新聞2004年度版	

追加 OK

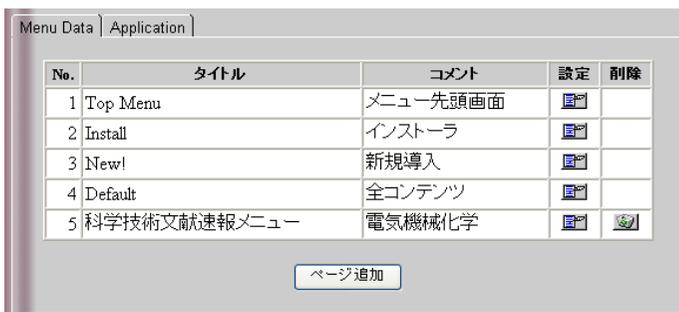
14. コンテンツの追加が完了したら上下の矢印ボタン ▲ ▼ をクリックしてドライブレターを調整した後プロパティ画面の「OK」ボタンをクリックすることでプロパティが確定されます。



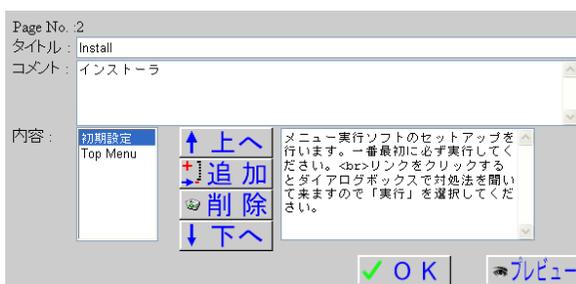
5.5. インストーラをメニューに登録

ここでは日本経済新聞インストーラを「install」メニューに登録することになります。

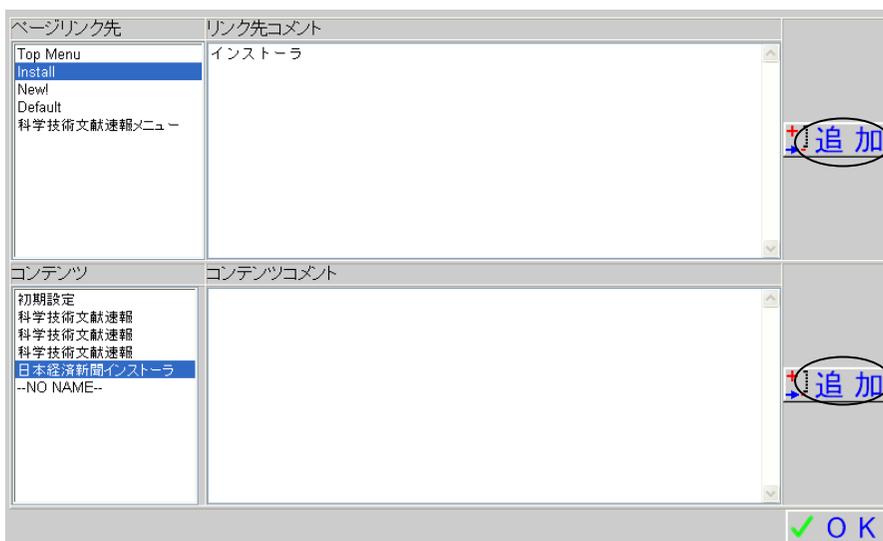
1. Launch Menu 画面で「Menu Data」タブをクリックします。
2. メニュー一覧画面が表示されます。



3. 「Install」のプロパティをクリックします。プロパティ画面が開きます。



4. ページ内に配置するリンクを追加します。追加ボタンをクリックしてリンク追加画面を開きます。
5. Install ページに日本経済新聞インストーラを追加します

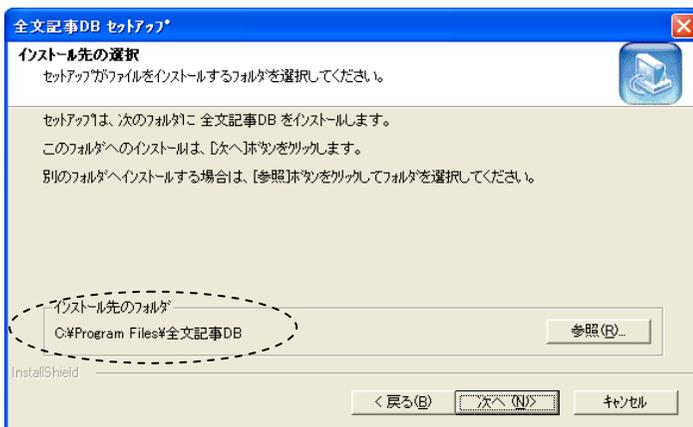


6. 同様に「Top Menu」に Install ページへのリンクを張っておきます。これでインストーラの起動が各クライアントからできるようになりました。

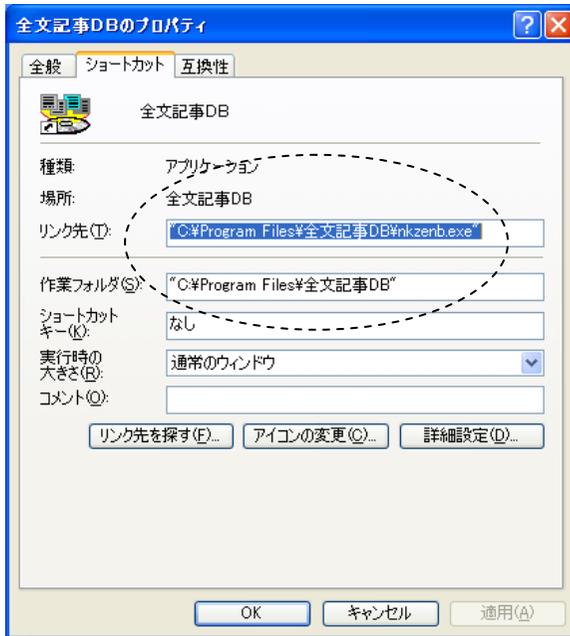
CD/DVD-ROMサーバ \ (Top Menu)	
CD/DVDコンテンツ閲覧メニュー メニュー先頭画面	
タイトル	説明
科学技術文献速報メニュー	電気機械化学
Install	インストーラ

CD/DVD-ROMサーバ \ (Install)	
CD/DVDコンテンツ閲覧メニュー インストーラ	
タイトル	説明
初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。
日本経済新聞インストーラ	
Top Menu	メニュー先頭画面

7. ここまでの作業でインストーラ自体は各クライアントから起動できるようになりました。次はこのインストーラから閲覧ソフトの情報を入手するためにこのインストーラを起動します。ここでインストール先フォルダが判明します。



8. インストールされたプログラムのプロパティを調べることで閲覧ソフトの情報が入手できます。



これで日経新聞 1999 年度版～2003 年度版のアプリケーション(閲覧ソフト)登録のための情報がそろいました。

アプリケーション

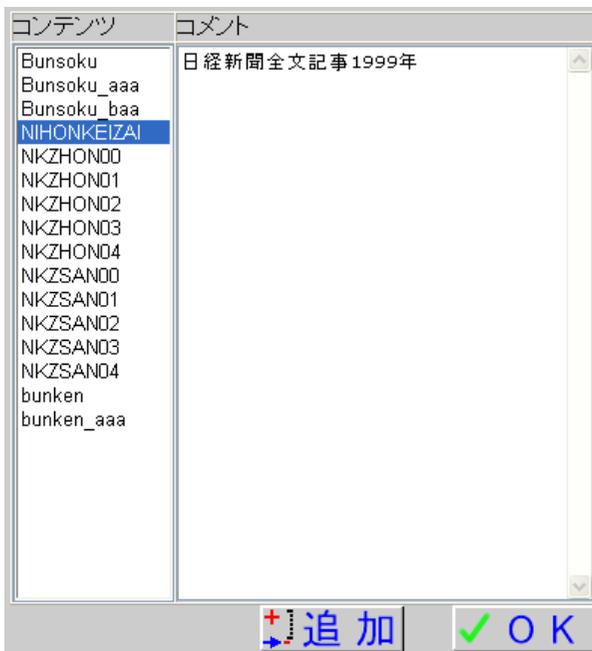
- 使用ディスク 5 枚
- ディスクマウント先 L:,M:,N:,O:,P: → 各クライアント共通に使用できるドライブレターを 5 枚割り当てます(この例では 1 つだけとすることもできます)。
- コマンドライン c:\Program Files\全文記事 DB\nkzen.exe
- 作業フォルダ c:\Program Files\全文記事 DB
- 終了後のマウント継続 なし

5.6. アプリケーションの登録

1. Launch Menu の「Application」タブをクリックします。
2. 画面一番下の「アプリケーション追加」ボタンをクリックします。一覧の一番下にタイトルが「--NO NAME--」、コメントが「--NO COMMENT--」のエントリーが追加されます。



3. 追加されたエントリーの欄のプロパティボタンをクリックしてプロパティ画面を開きます。
4. ここに「タイトル」、「コメント」、「コマンドライン」、「作業フォルダ」、「終了後もマウント継続」(なし)等を入力します。
5. 「追加」ボタンをクリックして参照コンテンツ追加画面を開きます。ここでマウント先に追加すべきコンテンツ(この場合は日本経済新聞 2000 年度版)を選択して「追加」をクリックします。その後「OK」をクリックしてこの画面を閉じます。



6. 上下の矢印ボタン ▲ ▼ をクリックしてドライブレターを調整した後プロパティ画面の「OK」ボタンをクリックすることでプロパティが確定されます。

Application No. : 12
 タイプ : プログラム起動 リンク呼び出し
 タイトル : 日経新聞全文記事1999年
 コメント :
 コマンド : c:\Program Files\全文記事DB\inkzenb.exe
 パラメータ :
 作業フォルダ : c:\Program Files\全文記事DB
 マウント数 : 1 終了後もマウント継続
 マウントドライブ : L: \Dvrsa45\NIHONKEIZAI

▲ ↑ 上へ
 + 追加
 ↓ 削除
 ↓ 下へ ▼

✓ OK

7. アプリケーションとして「日経新聞全文記事 1999 年」が登録されました。

No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。		
2	科学技術文献速報	機械工学編		
3	科学技術文献速報	電気工学編		
4	科学技術文献速報	化学編		
5	日本経済新聞 イラスト			
12	日経新聞全文記事1999年			

アプリケーション追加

8. 同様に 2000 年度から 2003 年度を登録します。

Application No. : 9
 タイプ : プログラム起動 リンク呼び出し
 タイトル : 日経新聞全文記事2003年
 コメント :
 コマンド : c:\Program Files\全文記事DB\nkzenb.exe
 パラメータ :
 作業フォルダ : c:\Program Files\全文記事DB
 マウント数 : 1 終了後もマウント継続
 マウントドライブ : P: \Dvrsa45\NKZSAN03

↑ 上へ
 + 追加
 - 削除
 ↓ 下へ

OK

No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。 リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。		
2	科学技術文献速報	機械工学編		
3	科学技術文献速報	電気工学編		
4	科学技術文献速報	化学編		
5	日本経済新聞インストーラ			
6	日経新聞全文記事2000年			
7	日経新聞全文記事2001年			
8	日経新聞全文記事2002年			
9	日経新聞全文記事2003年			
12	日経新聞全文記事1999年			

アプリケーション追加

この例ではマウントするドライブを年度ごとに独立させていますが(1999 年→ L:~
 2003 年→ P:)、このコンテンツの場合は複数年度にまたがって串刺し検索をするわけではありませんので同じドライブを指定してもかまいません(例 L:)

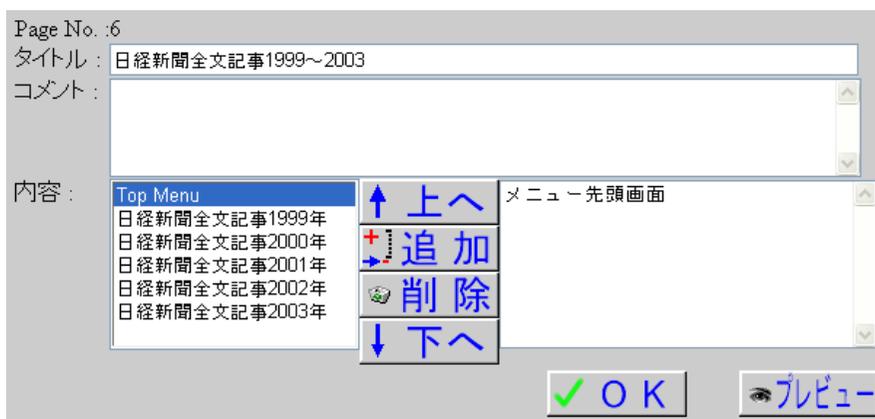
5.7. アプリケーションをメニューに登録

新しいページを作ってそこに各年度をメニューとして登録します。

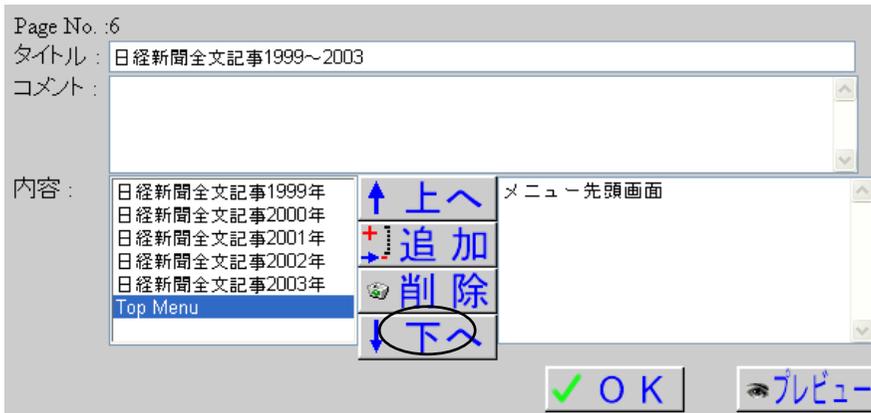
1. まず **Menu Data** のページ追加タグをクリックしてページを追加して「設定」を開いて新しいメニューページに登録します。



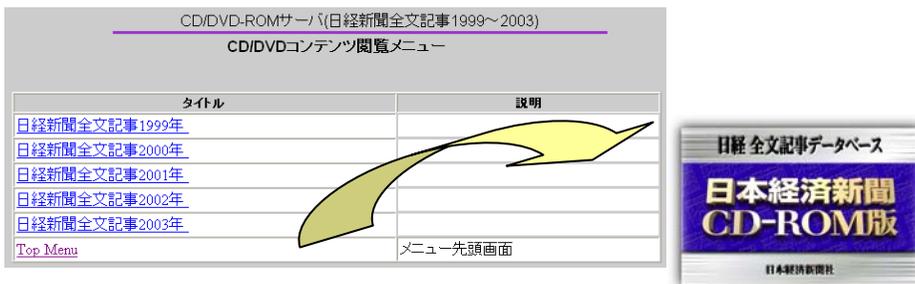
2. ページのタイトルを「日経新聞全文記事 1999～2003」として Top Menu へのリンクと 1999 年度～2003 年度までを追加します。



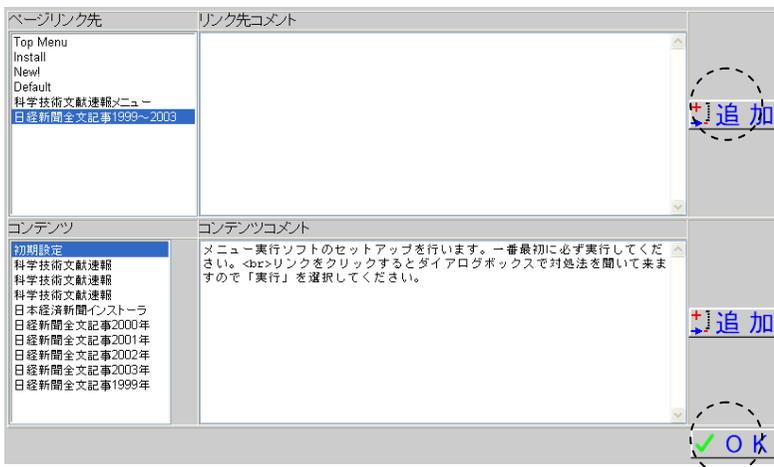
3. メニューの並びを調整します(この例では Top Menu を一番下へ)。



4. プレビューボタンで並びと動作(起動、リンクなど)を確認して OK ボタンを押します。



5. Top Menu にこのページへのリンクを張って完了(OK)です。



CD/DVD-ROMサーバ (Top Menu)	
CD/DVDコンテンツ閲覧メニュー メニュー先頭画面	
タイトル	説明
科学技術文献速報メニュー	電気機械化学
日経新聞全文記事1999～2003	
Install	インストーラ

ここまでの作業で日経新聞全文記事 1999 年度～2003 年度が各クライアントから簡単にネットワーク経由でインストールしてアクセスできるようになりました。メニュー画面は型紙をさしかえることにより自由に変更することができます。

6. 置き換え型のコンテンツのための設定

ある周期で新刊のメディアが出て従来のメディアと差し替える必要があるコンテンツがあります。使うアプリケーションも同じ、ボリュームラベルや枚数も同じ場合はそのまま差し替えるだけで済む場合もありますが、複数のディスクのボリュームラベルが同じ名前の場合（識別のため本機で自動的に名前を変更します）や、ユーザ設定で名前を変更していた場合などは毎回設定し直さなければなりません。こんな時は、たとえば本体のドライブもしくは増設用ドライブにあらかじめ名前を付けておき、それを使ってアクセスするとメディアの差し替えだけで済みます。ここでは 1 枚のメディアで構成されているコンテンツを差し替え可能な形でアクセスする方法について説明します。

6.1. 登録済みのコンテンツを置き換え形に設定する

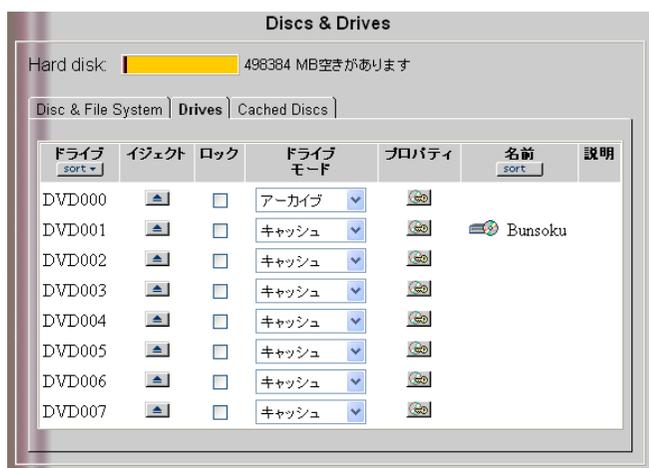
ドライブに名前をつけて、この名前でアクセスできるようにすることで、差し替えがあってもそのままアクセスすることができます。

【ドライブに名前をつける場合】

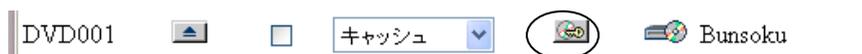
タワーのドライブに名前をつけて、その名前でアクセスできるようにすれば、そのドライブのメディアを差し替えてもトレイの場合と同様に、あらかじめつけられた名前のままでアクセスすることができます。

1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面左の **Discs & Drives** ボタンをクリックします。
5. 「Discs & Drives」の「Disc & File system」タブの画面が表示されます。
6. 「Drives」のタブをクリックします。

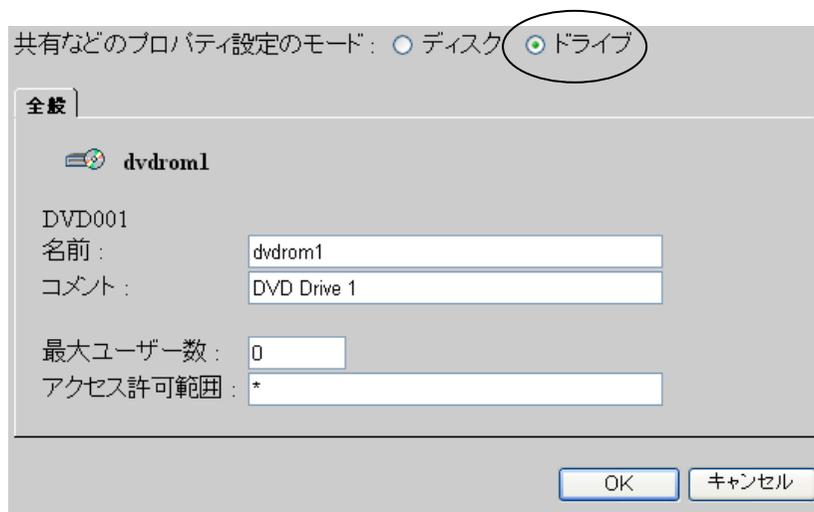
7. 「Discs & Drives」の「Drives」タブの画面が表示されます。



8. 「Drives」タブの画面よりドライブ番号1のプロパティボタンをクリックしてプロパティ画面を開きます。メディアが挿入されていないドライブでも有効です。



9. プロパティ画面でドライブ側のラジオボタンをクリックして設定モードをドライブにします。モードを切り替えると画面が書き換わりますので注意してください。



10. プロパティ画面でアクセス名、コメント、最大ユーザ数とアクセス許可範囲を編集したら「OK」ボタンをクリックして編集内容を反映させます。これでここにセットされたコンテンツは新たに設定された名前でアクセスが可能となります。

7. コンテンツの追加

新しいメディアが出て従来のメディアに追加していくタイプのコンテンツがあります。使うアプリケーション(閲覧ソフト)は同じでも、使う枚数が増える場合、それを追加登録する必要があります。実質的には「3.インストーラのあるコンテンツの登録」で複数枚のメディアを登録した作業そのものがこれに相当しますが、今回は追加で用意した同じシリーズのコンテンツを1枚追加する場合についてあらためて説明します。なおインストーラのないコンテンツの場合も基本的に同じです。

7.1. 追加コンテンツの登録

1. メディアをドライブにセットしてダウンロードします。
2. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
3. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
4. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
5. 画面左の **Discs & Drives** ボタンをクリックします。
6. 「Discs & Drives」の「Disc & File system」タブの画面が表示されます。



名前	プロパティ	イジェクト	アーカイブ	説明
Bunsoku			<input checked="" type="checkbox"/> (179 MB) 文献速報 機械	
Bunsoku_aaa			<input checked="" type="checkbox"/> (198 MB) 文献速報 電気	
Bunsoku_baa			<input checked="" type="checkbox"/> (246 MB) 文献速報 化学	
NIHONKEIZAI			<input checked="" type="checkbox"/> (626 MB) 日経新聞全文記事1999年	
NKZHON00			<input checked="" type="checkbox"/> (634 MB) 日経新聞全文記事2000年	
NKZHON01			<input checked="" type="checkbox"/> (605 MB) 日経新聞全文記事2001年	
NKZHON02			<input checked="" type="checkbox"/> (606 MB) 日経新聞全文記事2002年	
NKZHON03			<input checked="" type="checkbox"/> (567 MB) 日経新聞全文記事2003年	
NKZHON04			<input checked="" type="checkbox"/> (579 MB) 新規メディア	

→ NKZHON04 が格納されました(ダウンロード)。

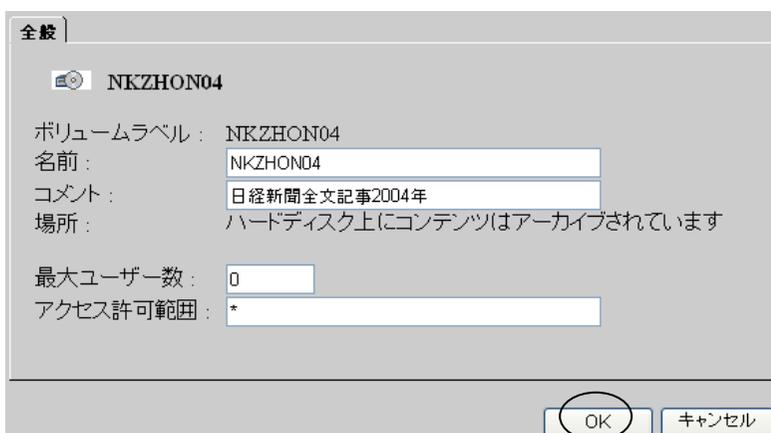
7.2. アクセス情報の変更

格納したコンテンツのアクセス情報を変更することができます。アクセス名・説明はネットワークコンピュータで CD/DVD サーバを開くと表示される内容となりますし、わかりやすいものに付け替えたほうが管理上も便利になります(トラブル等でコンテンツの入れなおしをする場合そのままのほうが簡単と言う考え方もあります)。アクセス条件として最大ユーザ数とアクセス許可範囲が設定できます。最大ユーザ数はそのコンテンツを同時に閲覧できる人数を制限することができます。0は無制限となります。アクセス許可範囲はそのコンテンツをアクセスできるマシンの IP アドレスの範囲を設定できます。

1. アクセス名やコメントを修正することができます。追加した NKZHON04 (2004 年度版)の「プロパティ」をクリックしてプロパティ画面を開きます。



2. プロパティ画面でアクセス名、コメント、最大ユーザ数とアクセス許可範囲を編集します(この例ではコメントのみ挿入)。編集が終わったら「OK」ボタンをクリックして編集内容を反映させます。このとき新しく変更された「名前」で **SMB** でのアクセスが可能となります。



Disc & File System				
Drives				
Cached Discs				
グループ作成				
名前	プロパティ	イジェクト	アーカイブ	説明
Bunsoku			<input checked="" type="checkbox"/> (179 MB) 文献速報 機械	
Bunsoku_aaa			<input checked="" type="checkbox"/> (198 MB) 文献速報 電気	
Bunsoku_baa			<input checked="" type="checkbox"/> (246 MB) 文献速報 化学	
NIHONKEIZAI			<input checked="" type="checkbox"/> (626 MB) 日経新聞全文記事1999年	
NKZHON00			<input checked="" type="checkbox"/> (634 MB) 日経新聞全文記事2000年	
NKZHON01			<input checked="" type="checkbox"/> (605 MB) 日経新聞全文記事2001年	
NKZHON02			<input checked="" type="checkbox"/> (606 MB) 日経新聞全文記事2002年	
NKZHON03			<input checked="" type="checkbox"/> (567 MB) 日経新聞全文記事2003年	
NKZHON04			<input checked="" type="checkbox"/> (579 MB) 日経新聞全文記事2004年	

7.3. アプリケーションの登録

追加されたコンテンツを登録します。アプリケーション(閲覧ソフト)は登録済みなのでそのまま使うことができます。

【登録前の準備】

この例では前回 1999 年度～2003 年度を登録した際のデータを、ドライブレターだけを変更してそのまま使うことができます。

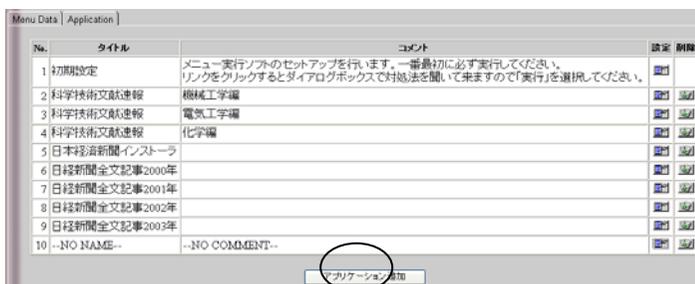
- ・ ディスク..... 1枚
- ・ ディスクマウント先..... R:
- ・ コマンドライン c:\¥Program Files¥全文記事 DB¥nkzenb.exe
- ・ 作業フォルダ c:\¥Program Files¥全文記事 DB
- ・ 終了後のマウント継続..... なし

インストーラは先に登録したものをそのまま使いますのでアプリケーションのみ追加します。

7.4. アプリケーションの追加登録

アプリケーション(この例では NKZHON04)の追加登録を行うためにアプリケーション登録画面をブラウザで開きます。

1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URLが“http://(CD/DVDサーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面左の **Launch Menu** ボタンをクリックします。
5. 「Launch Menu」画面が表示されます。
6. 「Application」タブをクリックします。
7. アプリケーション一覧画面が表示されます。
8. アプリケーションの追加を行います。



9. 追加されたエントリーの欄のプロパティボタンをクリックしてプロパティ画面を開きます。



10. 前回と同じ情報を入力(Cut & Paste)して追加ボタンを押します。

Application No. : 10
タイプ: プログラム起動 リンク呼び出し
タイトル: 日経新聞全文記事2004年
コメント:
コマンド: c:\Program Files\全文記事DB\nkzenb.exe
パラメータ:
作業フォルダ: c:\Program Files\全文記事DB
マウント数: 0 終了後もマウント継続
マウントドライブ:
↑ 上へ
+ 追加
- 削除
↓ 下へ
OK

11. 「追加」ボタンをクリックして参照コンテンツ追加画面を開きます。ここでNKZHON04を選択して「追加」と「OK」をクリックします。

コンテンツ	コメント
Bunsoku	日経新聞全文記事2004年
Bunsoku_aaa	
Bunsoku_baa	
NIHONKEIZAI	
NKZHON00	
NKZHON01	
NKZHON02	
NKZHON03	
NKZHON04	
NKZSAND00	
NKZSAND01	
NKZSAND02	
NKZSAND03	
NKZSAND04	
bunken	
bunken_aaa	

追加 OK

12. 上下の矢印ボタン ▲ ▼ をクリックしてドライブレターを調整した後プロパティ画面の「OK」ボタンをクリックすることでプロパティが確定されます。

Application No. : 10
 タイプ : プログラム起動 リンク呼び出し
 タイトル : 日経新聞全文記事2004年
 コメント :
 コマンド : c:\Program Files\全文記事DB\inkzenb.exe
 パラメータ :
 作業フォルダ : c:\Program Files\全文記事DB
 マウント数 : 1 終了後もマウント継続
 マウントドライブ : R: \Dvrsa45\NKZHON04

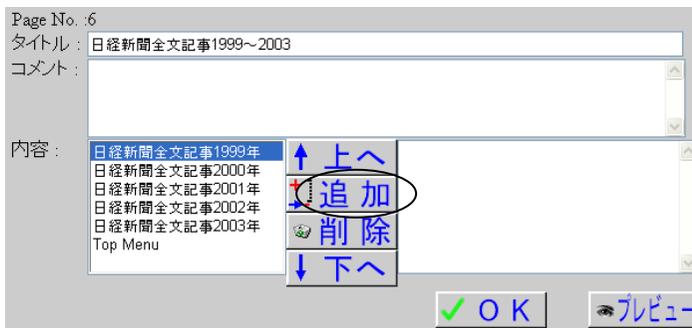
▲ 上へ
 + 追加
 - 削除
 ▼ 下へ

OK

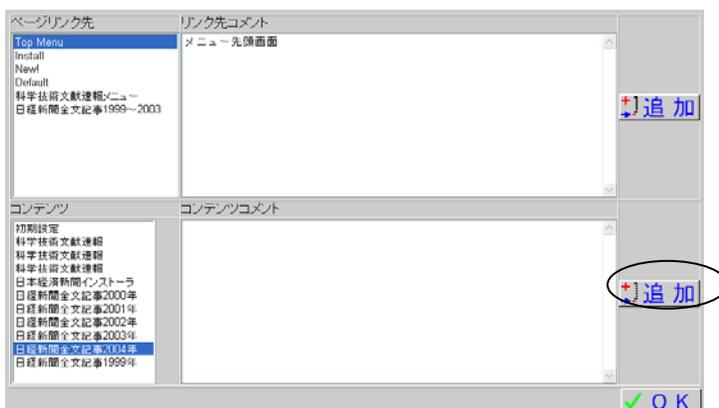
No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。		
2	科学技術文献速報	機械工学編		
3	科学技術文献速報	電気工学編		
4	科学技術文献速報	化学編		
5	日本経済新聞インストラ			
6	日経新聞全文記事2000年			
7	日経新聞全文記事2001年			
8	日経新聞全文記事2002年			
9	日経新聞全文記事2003年			
10	日経新聞全文記事2004年			
11	日経新聞全文記事1999年			

アプリケーション追加

13. 最後にメニューに追加します。該当エントリー欄の設定ボタンをクリックしてプロパティ画面の追加ボタンを押します。



14. このメニューに追加したアプリケーション(日経新聞全文記事 2004 年)を追加します。



15. あわせてタイトルの年度を変更し、メニューの並びを調整してプレビューで確認したら OK ボタンを押します。

Page No. :6
 タイトル : 日経新聞全文記事1999~2004
 コメント :

内容 :

日経新聞全文記事1999年	↑ 上へ
日経新聞全文記事2000年	+ 追加
日経新聞全文記事2001年	- 削除
日経新聞全文記事2002年	↓ 下へ
日経新聞全文記事2003年	
日経新聞全文記事2004年	
Top Menu	

OK プレビュー

CD/DVD-ROMサーバ(日経新聞全文記事1999~2004)
 CD/DVDコンテンツ閲覧メニュー

タイトル	説明
日経新聞全文記事1999年	
日経新聞全文記事2000年	
日経新聞全文記事2001年	
日経新聞全文記事2002年	
日経新聞全文記事2003年	
日経新聞全文記事2004年	
Top Menu	メニュー先頭画面

16. これで完了です。ご苦労さまでした。メニュー画面は型紙をさしかえることにより自由に変更することができます。

8. グループ化

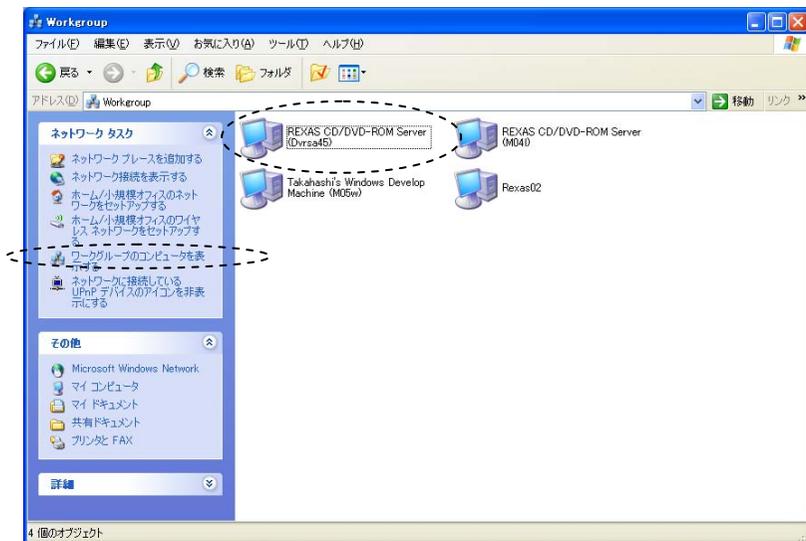
複数枚のディスクをグループ化して1つのフォルダにまとめることができます。これは、いわゆる串刺し検索を行うアプリケーション(閲覧ソフト)に有効な機能です。ここでは判例体系 CD-ROM を例にとって説明します。

8.1. インストーラの登録

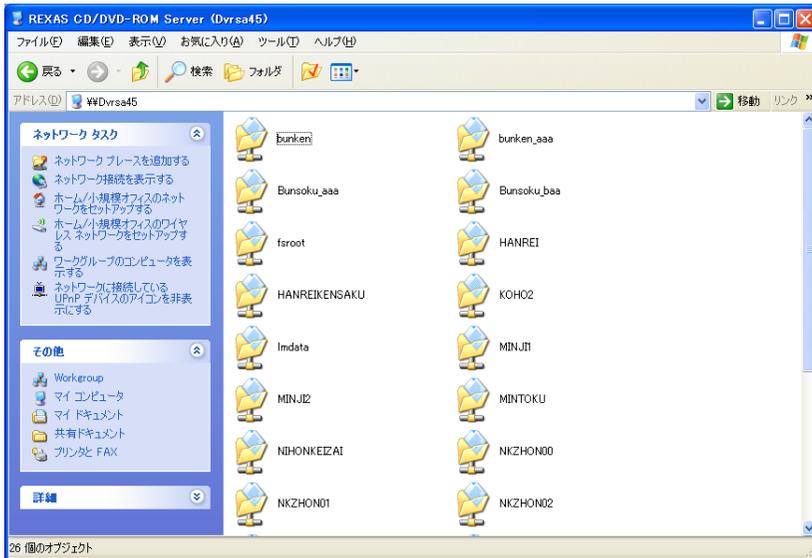
まずインストーラをメニューに登録してクライアントからネットワーク経由インストールができるようにします

1. 閲覧ソフトのインストーラ CD をドライブにセットまたはダウンロードします。
2. インストール CD を参照してセットアップの情報を入手します。

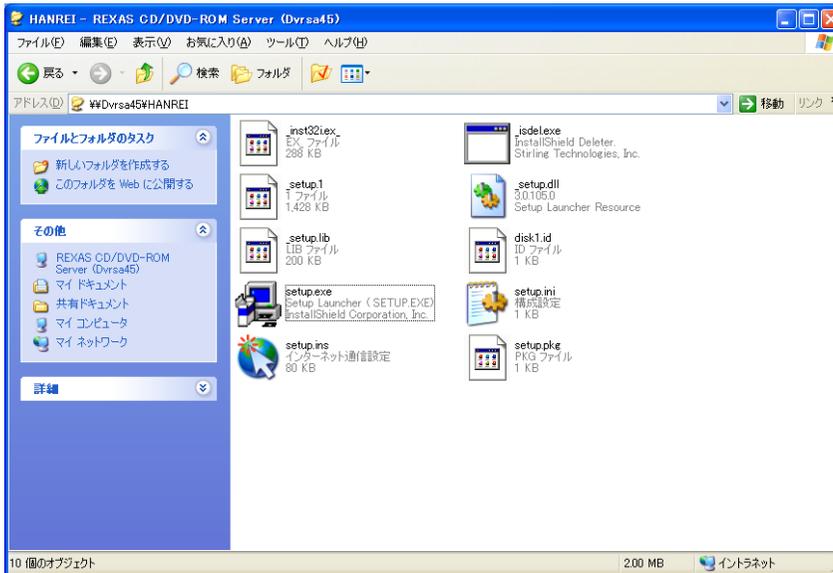
(ネットワークコンピュータ → ワークグループ)



(HANREI)



(セットアップ情報)



3. 「判例体系」としてこのインストーラを Launch Menu にアプリケーション登録します。
ドライブを K:に割り付けます(例)。

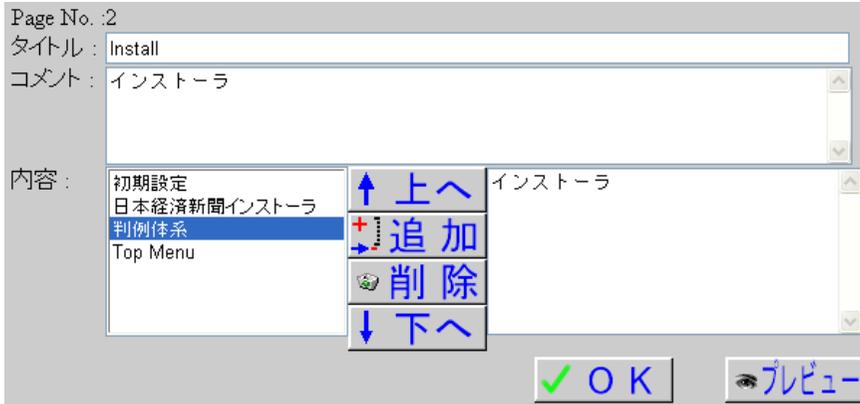
Application No. : 12
 タイプ : プログラム起動 リンク呼び出し
 タイトル : 判例体系
 コメント : インストーラ
 コマンド : K:\setup.exe
 パラメータ :
 作業フォルダ : K:\
 マウント数 : 1 終了後もマウント継続
 マウントドライブ : K: \Dvrsa45\HANREI
 ↑ 上へ
 + 追加
 - 削除
 ↓ 下へ
 OK

No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。		
2	科学技術文献速報	機械工学編		
3	科学技術文献速報	電気工学編		
4	科学技術文献速報	化学編		
5	日本経済新聞インストーラ			
6	日経新聞全文記事2000年			
7	日経新聞全文記事2001年			
8	日経新聞全文記事2002年			
9	日経新聞全文記事2003年			
10	日経新聞全文記事2004年			
11	日経新聞全文記事1999年			
12	判例体系	インストーラ		

4. Install ページにメニュー登録します。

No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	Top Menu	メニュー先頭画面		
2	Install	インストーラ		
3	New!	新規導入		
4	Default	全コンテンツ		
5	科学技術文献速報メニュー	電気機械化学		
6	日経新聞全文記事1999~2004			
7	判例			

ページ追加



CD/DVD-ROMサーバ \ (Install)
CD/DVDコンテンツ閲覧メニュー
インストーラ

タイトル	説明
初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。
日本経済新聞インストーラ	
判例体系	インストーラ
Top Menu	メニュー先頭画面

※ メニュー画面は型紙をさしかえることにより自由に変更することができます。

8.2. グループの作成

都合 10 枚のディスクをグループに登録します。

1. Discs & Drives の Disc & File System を開いてグループ作成のボタンを押して新しいエントリーのプロパティを開きます。



2. HANREIKENSAKU というグループ名をつけます(例)。

全般 | 内容

📁 HANREIKENSAKU

名前: HANREIKENSAKU

コメント: 判例体系

最大ユーザー数: 0

アクセス許可範囲: *

削除 保存 終了

3. 「内容」タブをクリックして追加ボタンを押します。

全般 | 内容

📁 判例検索:判例体系CD-ROM

追加

削除 保存 終了

4. グループに該当メンバーを選択して「追加」(登録)します。

ディスク

ディスクコメント

HONKEN
KEIJI
KOH01
KOH02
MINJI1
MINJI2
MINTOKU
NIHONKEIZAI
NKZHON00
NKZHON01

本文

追加 終了

5. 追加できたら「保存」して「終了」します。



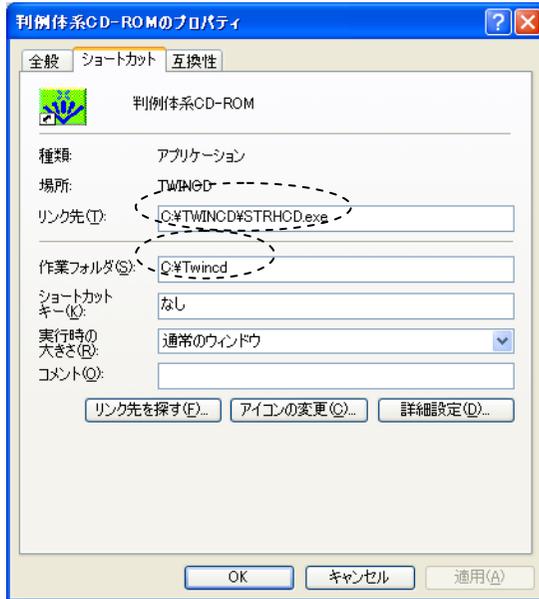
6. HANREIKENSAKU グループがフォルダとして作成されました。



8.3. 閲覧ソフトの登録

Launch Menu に関覧ソフトを登録してグループフォルダ (HANREIKENSAKU) を割り付けます。

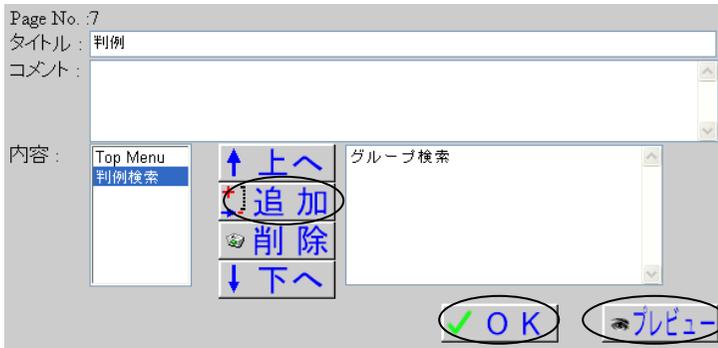
1. Launch Menu に「判例検索」として Application 登録します。



この例では HANREIKENSAKU フォルダを J:ドライブに割り付けました。



2. 「判例」ページを作成し判例検索を「追加」します。プレビューで確認して OK ボタンで登録します。



CD/DVD-ROMサーバ(判例)
 CD/DVDコンテンツ閲覧メニュー

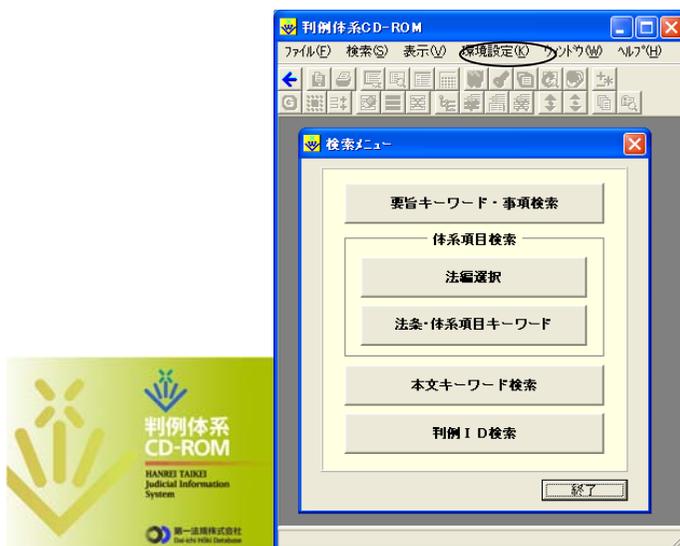
タイトル	説明
Top Menu	メニュー先頭画面
判例検索	グループ検索

Menu Data | Application

No.	タイトル	コメント	設定	削除
1	初期設定	メニュー実行ソフトのセットアップを行います。一番最初に必ず実行してください。リンクをクリックするとダイアログボックスで対処法を聞いて来ますので「実行」を選択してください。		
2	科学技術文献速報	機械工学編		
3	科学技術文献速報	電気工学編		
4	科学技術文献速報	化学編		
5	日本経済新聞インストーラ			
6	日経新聞全文記事2000年			
7	日経新聞全文記事2001年			
8	日経新聞全文記事2002年			
9	日経新聞全文記事2003年			
10	日経新聞全文記事2004年			
11	日経新聞全文記事1999年			
12	判例体系	インストーラ		
13	判例検索	グループ検索		

アプリケーション追加

3. プレビュー画面より判例検索を起動します。「環境設定」タブの「CD-ROMドライブの割当て」を開いて「自動割当て」を押してグループ(10枚)が正しく認識されていることを確認します。



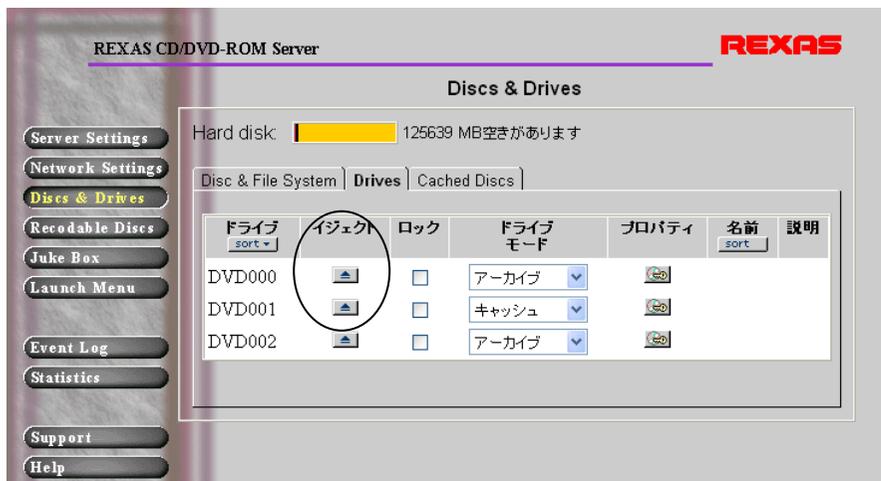
これでグループの登録ができました。クライアントからインストールおよび起動を確認してください。

9. ディスクの出し入れ

CD/DVD サーバではメディアを CD/DVD ドライブまたは CD/DVD ジュークボックスに格納することで管理・読み込みを行います。読み込みを行っている間はメディアをロックすることで抜き取りを禁止していますが読み取りが終わると自由に抜き取ることができます(メディアロック指示をした場合を除く)。

9.1. CD/DVD ドライブの場合

CD/DVD ドライブにはイジェクトボタンが装備されており、メディアの読み込みが終了すればこのボタンを押すことでメディアを抜き取ることができるようになります。ディスクの出し入れに関してはドライブ制御画面からも行うことができます。



1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面左の **Discs & Drives** ボタンをクリックします。
5. 「Disc & File System」画面が表示されます。
6. 「Drives」タブをクリックします。

「イジェクト」ボタンをクリックすることでメディアのイジェクトを行うことができます。また、「ロック」をチェックすることでドライブのイジェクトボタンを押してもイジェクトできなくなります。

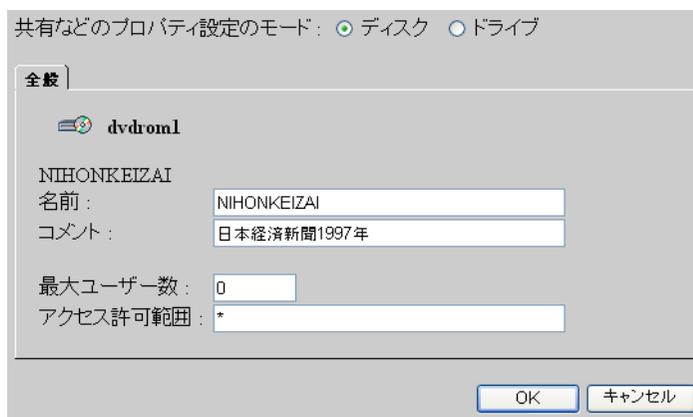
10. ディスク名の変更

CD/DVD サーバではメディアを挿入するとそのメディアのボリュームラベルを元にディスク名(アクセス名)を作成します。このアクセス名では管理が難しくなる場合があります。CD/DVD サーバではディスク名を変更することができます。



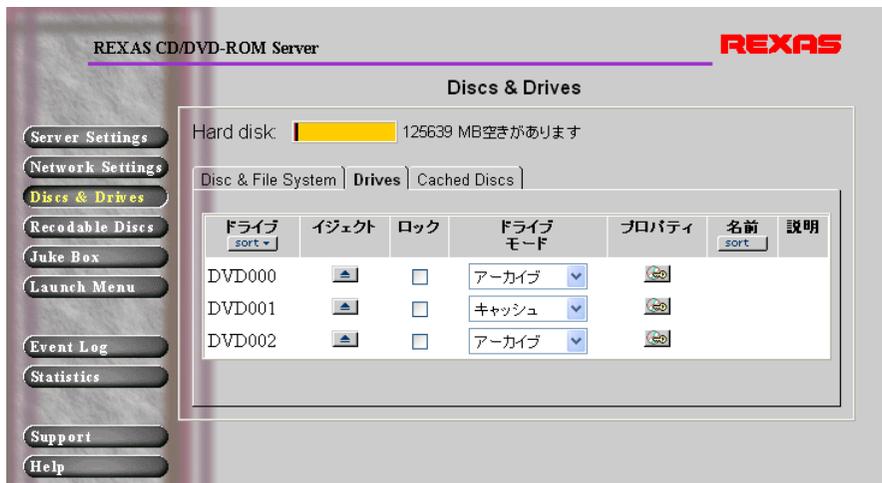
1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance/”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面左の **Discs & Drives** ボタンをクリックします。
5. 「Disc & File System」画面が表示されます。

この画面で「プロパティ」ボタンをクリックすることで各メディアのディスク名を変更することができます。



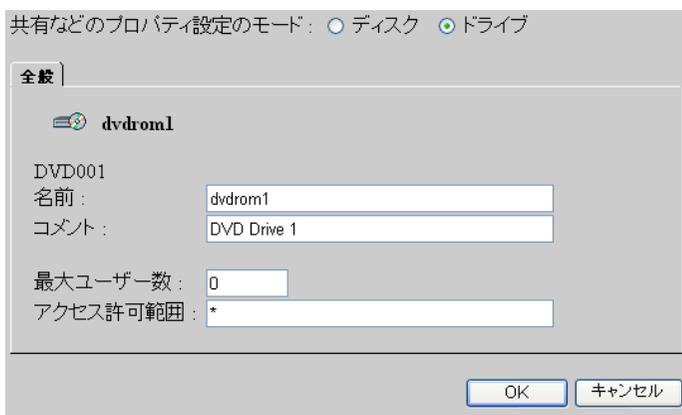
11. ドライブ名・トレイ名の変更

CD/DVD サーバではドライブ・トレイに対して固有の名前(アクセス名)を用意することで、メディアの抜き差しを行っても同一の名前でアクセスすることができるようになります。



1. CD/DVD サーバと同一セグメント内、又は http プロトコルでアクセス可能なマシンでブラウザを起動します。
2. URL が“http://(CD/DVD サーバ名)/Maintenance”である画面を表示します。設定によりパスワードが要求されることもあります。
3. Top 画面である「Server Setting」画面が表示されます。
4. 画面左の **Discs & Drives** ボタンをクリックします。
5. 「Disc & File System」画面が表示されます。
6. 「Drives」タブをクリックします。
7. 「Drives」画面が表示されます。

この画面でプロパティボタンをクリックすることで各ドライブのドライブ名を変更することができます。



12. アプリケーション情報の入手

通常、各コンテンツにはそのコンテンツを利用するためのアプリケーションが存在します。多くのコンテンツでは「オートラン」と呼ばれる機能を用いてインストール・閲覧を自動的に開始するようになっています。また、自動で開始されない場合はマニュアル等のドキュメントにその方法が記述されています。

まずインストールが必要なコンテンツの場合そのインストーラがメディア上に存在しておりそのインストール方法がマニュアル等に記述されています。この内容を元に以下の情報を取り出します。

- ・ 使用ディスク インストールに必要な枚数(通常 1 枚)
- ・ ディスクマウント先 (全クライアントマシンであいているはずのドライブ)
- ・ コマンドライン マウントされたディスク上のインストーラへのパス
- ・ 作業フォルダ マウントされたディスク上のインストーラのあるフォルダ
- ・ 終了後のマウント継続 .. あり(インストーラは通常「あり」です)

これらの情報を元にインストーラを **Launch Menu** に登録します。

アプリケーションの情報を取り出すには一度アプリケーションをインストールされることをお勧めします。インストールした結果デスクトップにアイコンが作成されたり、スタートメニュー内にメニューが作成されたりするのでそのアイコンやメニューのプロパティを開きます。

- ・ 使用ディスク アプリケーションに必要な枚数
- ・ ディスクマウント先 (全クライアントマシン共通に連続であいているドライブ)
- ・ コマンドライン プロパティ内の「リンク先(**T**)」
- ・ 作業フォルダ プロパティ内の「作業フォルダ(**S**)」
- ・ 終了後のマウント継続 .. なし(通常「なし」です)

といった情報を得ることができます。これらの情報を元にインストーラを **Launch Menu** に登録します。

CD/DVD サーバでは、クライアント・サーバモデルのアプリケーション及び、ネットワークドライブに対応していないアプリケーションは利用できません。

13. イベントログ／アクセスログ

各種統計情報を表示・取得できます。イベントログ(メディアのダウンロードやエラー発生などのイベントの記録), エラーログ(エラー発生の記録), ユーザアクセスログ(ユーザごとのアクセスメディアと時間の記録), メディアアクセスログ(メディアごとのユーザアクセスと時間の記録)が用意されています。

REXAS CD/DVD-ROM Server REXAS

Event Log/Access Log

Server Settings

Network Settings

Discs & Drives

Juke Box

Launch Menu

Event Log

Statistics

Backup

Support

Help

● ログ集計条件

集計期間

2006/03/25 ~ 2006/04/07 (全保存データ使用)

~

集計内容

イベントログ

エラーログ

ユーザアクセスログ

メディアアクセスログ

集計結果

直ちに表示

直ちにダウンロード

直ちにメールの添付ファイルとして送信

● ログ集計スケジュール

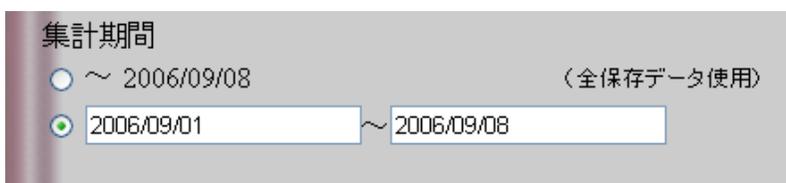
No.	イベント ログ	エラー ログ	ユーザ アクセス ログ	メディア アクセス ログ	タイプ	集計日	集計時間
1.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
2.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
3.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
4.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
5.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
6.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
7.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
8.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00

常に収集されているログ情報はシステムのトラブル発生時の解析に必須となる重要な情報です。また、コンテンツの使用状況等を調べることで公開の優先順位の入れ替えや購入計画などに役立ちます。ただしログ情報は2か月分が本体内に保存され、それを過ぎると削除されますのでご注意ください。

集計方法は大きく分けて、まずその都度指定する方法とスケジュールで自動集計する方法の2通りあり、それらを集計期間とログの種別ごとに3つの方法で取得できます。

○ 集計期間

現時点までに収集された全期間の集計と期間を指定した集計が可能です。



集計期間

~ 2006/09/08 (全保存データ使用)

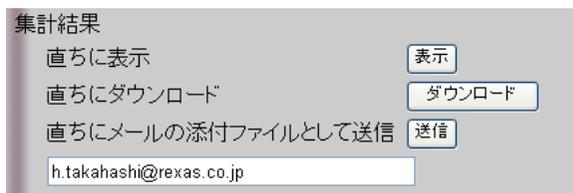
2006/09/01 ~ 2006/09/08

○ 集計内容

ログの種別ごとにイベントログ、エラーログ、ユーザアクセスログ、メディアアクセスログの4種類の集計が可能です。

○ 集計結果

集計結果の取得方法として表示、ダウンロード、メール送信の3通りの方法が選択できます。各ボタンをクリックすることで実行されます。「表示」では別画面が開きログ内容を表示します。「ダウンロード」では集計結果をその場でCSV形式のファイルに変換しwww経由で保存することができます。「メール送信」では集計結果をその場でCSV形式のファイルに変換し指定されたメールアドレスに添付したメールを送信します。



集計結果

直ちに表示

直ちにダウンロード

直ちにメールの添付ファイルとして送信

○ ログ集計スケジュール

No.	イベント ログ	エラー ログ	ユーザ アクセス ログ	メディア アクセス ログ	タイプ	集計日	集計時間
1.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	週指定	月曜日	03:00
2.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00

集計結果は指定されたスケジュールでメール送信を行うことができ、スケジュールは 8 通り指定できます。指定可能な方法は「月指定」と「週指定」です。月指定は毎月何日にログ取得を実行するか指定できます。ただし、1 日から 28 日の間で指定します。週指定は日曜日から土曜日までの曜日でログ取得を実行する日を指定できます。またそれぞれにログ取得開始時間を指定できます。このスケジュールを含め設定を変更した場合は「設定保存」ボタンをクリックしないと設定が保存されません。スケジュールでログ情報を取得すると同一種類のログは直前に実行された同一の方法で指定されたスケジュールにより取得された最後のデータ以降から昨日までの集計内容を得ることができます。例えば週指定で月曜日にユーザアクセスログとメディアアクセスログを取得し木曜日に全ログを取得すると、

月曜日:	ユーザアクセスログ	先週の木曜日より日曜日までのデータ
	メディアアクセスログ	先週の木曜日より日曜日までのデータ
木曜日:	イベントログ	先週の木曜日より水曜日までのデータ
	エラーログ	先週の木曜日より水曜日までのデータ
	ユーザアクセスログ	月曜日より水曜日までのデータ
	メディアアクセスログ	月曜日より水曜日までのデータ

となります。メールサーバの不全などでメールが送信できなかった場合はその回が飛ばされてしまいますので手動にて取得してください。

14. データベースのバックアップ

諸設定やコンテンツ情報等をバックアップして保存しておく事ができます。また、そのバックアップ情報をリストアする事ができます。

REXAS CD/DVD-ROM Server REXAS

Data Base Backup/Restore

Server Settings ● バックアップ

Network Settings

Disks & Drives

Juke Box

Launch Menu

Event Log

Statistics

Backup

Support

Help

バックアップ先

- 本体内バックアップフォルダ (8世代前まで保存)
- メールの添付ファイルとして送信

● 本体内バックアップフォルダ

No.	バックアップ日付	ダウンロード	アップロード	リストア	削除
1.	データ無し	ダウンロード	<input type="text"/> 参照...	リストア	削除
2.	データ無し	ダウンロード	<input type="text"/> 参照...	リストア	削除
3.	データ無し	ダウンロード	<input type="text"/> 参照...	リストア	削除
4.	データ無し	ダウンロード	<input type="text"/> 参照...	リストア	削除
5.	データ無し	ダウンロード	<input type="text"/> 参照...	リストア	削除
6.	データ無し	ダウンロード	<input type="text"/> 参照...	リストア	削除
7.	データ無し	ダウンロード	<input type="text"/> 参照...	リストア	削除
8.	データ無し	ダウンロード	<input type="text"/> 参照...	リストア	削除

● バックアップスケジュール

No.	有効	タイプ	バックアップ日	バックアップ時間
1.	<input checked="" type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
2.	<input checked="" type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
3.	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
4.	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
5.	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
6.	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
7.	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00
8.	<input type="checkbox"/>	月指定	1日	03:00

バックアップはデータベースで管理されている情報であるドライブ・ジュークボックス等の設定及びコンテンツ情報を保存します。バックアップデータは本体内に 8 世代分保存でき、メールに添付して管理者へ送付する事も可能です。

バックアップ先として本体内容かメール添付かを選択します。本体内容を指定すると予約されているバックアップフォルダにバックアップ情報を格納します。このとき既に 8 世代分のバックアップ情報が有る時は最も古い情報が削除されます。メール添付を指定すると指定されたメールアドレスにバックアップ情報を添付したメールを送信します。このとき本体内のフォルダにはデータは格納されません。バックアップ動作は「バックアップ」ボタンをクリックするかスケジュールで指定されたタイミングで実行されます。

本体内容バックアップフォルダは 8 つ用意されておりそれぞれのフォルダに対して「ダウンロード」「アップロード」「リストア」「削除」が行えます。「ダウンロード」はフォルダ内のバックアップデータファイルを www 経由で保存する事ができます。「アップロード」はダウンロードと逆に保存してあったバックアップファイルを www 経由でフォルダに格納します。「リストア」はフォルダ内のバックアップデータをデータベース内書き戻しシステムを再起動します。「削除」はフォルダ内のバックアップデータを削除します。

バックアップは指定されたスケジュールで行う事ができ、スケジュールは 8 通り指定できます。指定可能な方法は「月指定」と「週指定」です。月指定は毎月何日にバックアップを実行するか指定できます。ただし、1 日から 28 日の間で指定します。週指定は日曜日から土曜日までの曜日でバックアップを実行する日を指定できます。またそれぞれにバックアップ開始時間を指定できます。このスケジュールを含め設定を変更した場合は「設定保存」ボタンをクリックしないと設定が保存されません。

(MEMO)

REXAS CD/DVD サーバ
(スタンダードモデル)
クイックスタートガイド

2007 年 7 月 Ver.2.2 第 1 版発行
発行 株式会社レクサス

Copyright ©2005-2007 REXAS Inc.